

- 資料 1 : 養成する人材像と3つのポリシーの対比表
- 資料 2 : ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応
- 資料 3 : 広島大学職員就業規則
- 資料 4 : 修了までのスケジュール
- 資料 5 : 履修モデル
- 資料 6 : 学位授与の判定基準及び学位論文の評価基準
- 資料 7 : 博士論文研究基礎力審査
- 資料 8 : 研究の倫理審査に関する概要及び規定
- 資料 9 : 教職開発専攻各コースの時間割モデル
- 資料 10 : 公認心理師実習施設使用承諾書
- 資料 11 : 公認心理師・臨床心理士履修モデル
- 資料 12 : 広島大学教職大学院認証評価実施について
- 資料 13 : 法科大学院認証評価（本評価）の実施について
- 資料 14 : 教職開発専攻教育課程連携協議会設置要綱
- 資料 15 : 教職開発専攻教育課程連携協議会構成員名簿
- 資料 16 : 教職開発専攻教育課程連携協議会就任承諾書
- 資料 17 : 教職開発専攻教育課程連携協議会構成員の役割
- 資料 18 : 実務法学専攻教育課程連携協議会細則
- 資料 19 : 実務法学専攻教育課程連携協議会構成員名簿
- 資料 20 : 実務法学専攻教育課程連携協議会就任承諾書
- 資料 21 : 実務法学専攻教育課程連携協議会構成員の役割

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

人文学プログラム	養成する人材像		
	幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法とを身に付け、それらを統合して新たな創造につなげることが出来る基礎力を有するとともに、専門分野における研究能力を基盤とした高度な専門性を必要とする職業を担うための十分な能力を備えた人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
人文学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（文学）」の学位を授与する。		人文学プログラムでは、以下のよう志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求むる。	
<p>① 幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法を身に付け、それらを統合して、新たな創造につなげることが出来る基礎力を有している。</p> <p>② 専門分野における研究能力と、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を有している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 言語学、文学、哲学、史学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>① 論理的思考力、創造力、語学力など、人文学を学ぶために必要な能力を身に付けている人</p> <p>② 柔軟で批判的な精神を持ち、主体的に学習や研究を行う意欲のある人</p> <p>③ 原典・資料に基づいて、人間、文化、歴史、環境について深く考察したい人</p> <p>④ 専門性を活かして世界に羽ばたきたいという意欲を持つ人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

心 理 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	<p>心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる能力、現代社会における人間の心に関する課題を認識し、それらを解決するための資質を有し、人間の心理に関するさまざまな事象及び諸課題に関する研究を推進できる人材。特に心理学先端研究コースでは、人間の行動とその根底にある心理過程の解明に、科学的に、かつ、認知・生理、社会、教育・学習、発達・幼児、臨床等の心理学各領域の多様な観点からアプローチでき、様々な心の問題に関する先端的な研究を国内外で推進できる研究者。臨床心理学実践・研究コースでは、臨床心理学の実践活動に重点を置き、心理学の多様な観点から実証的研究を行い、高度な臨床実践を担う実践家、実証的な研究力・開発力を身に付けた高度専門職業人</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>心理学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（心理学）」の学位を授与する。</p> <p>① 認知・生理、社会、教育・学習、発達・幼児、臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる高度な能力を有している。</p> <p>② 現代社会における人間の「こころ」に関する課題を認識し、それらを解決するための資質を有している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 心理学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として、主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>心理学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 現代社会における人間の「こころ」に関する課題に積極的な関心を持つ人</p> <p>② 人間の行動と心理過程に関わる高度な研究と専門性を追求する人</p> <p>③ 入学後に、認知・生理、社会、教育・学習、発達・幼児、臨床等の心理学各領域の多様な視点から「こころ」に関する課題を解決するための方法、研究を実践するための能力・技法を身に付け、問題解決への意欲や態度を形成し、人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる人</p>

人間社会科学部
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

法 学 ・ 政 治 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	法学，政治学，国際関係論，社会学等の社会科学領域について，専門的かつ学際的な知識，現代の国内・国際社会がかかえる事例分析及び社会調査等に関する知見・手法，具体的な社会問題等の解決に向けた事例・現状分析及び戦略立案目標の策定に関する知見・手法を修得している人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>法学・政治学プログラムでは，以下の能力を身に付け，所定の単位数を修得し，修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に，研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（法学），修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 現代の国内・国際社会がかかえる事例分析及び社会調査等に関する高度な知見・手法を修得している。</p> <p>② 具体的な社会問題等の解決に向けた事例・現状分析及び戦略立案の作成に関する高度な知見・手法を修得している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し，高い倫理観を有している。</p>	<p>① 社会学，法学，政治学や，それらに関連する学際分野，融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため，各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し，さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を，各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため，専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ，広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため，他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため，研究指導は，主指導教員と，主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>法学・政治学プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に，法学，政治学，国際関係論，社会学，および関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け，官公庁，企業，NPO，医療現場等での活躍や，博士課程後期への進学を目指す人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

経済学プログラム	養成する人材像		
	社会科学の一翼を担うため、経済学を主要なツールに急展開を見せる経済システムや社会システムに着目し、社会に貢献するという志を持ち、直面する様々な問題を、積極的にかつ能動的に解決できる能力を備えた研究者及び高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>経済学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（経済学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 国内経済及び国際経済についての理論的及び歴史的視点を持ち、経済的・社会的諸問題に関する客観的で事実に基づいた解決を模索する高度な能力を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 経済学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>経済学プログラムでは、以下の様な志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 歴史や社会問題への関心が高く、知的好奇心にあふれ、地道な努力をいとわない人</p> <p>② 有職者にあつては、職場において直面している懸案を科学の目で再度、分析・検討を加えてみようという志を抱いている人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

マ ネ ジ メ ン ト プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	<p>①地域の経済，社会，文化における独立心あるいは起業心とそれを行動に移す能力 ②様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力 ③情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し，ネットワークを構築・運用できる能力 ④アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力 博士課程前期においては，これらの基盤的知識や能力を活かし，職場等で実践できる人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>マネジメントプログラムでは，以下の能力を身に付け，所定の単位数を修得し，修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に，研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（マネジメント），修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 地域の経済，社会，文化における独立心あるいは起業心を有している。</p> <p>② 様々な組織運営に関わる専門的な知識を有している。</p> <p>③ 情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し，ネットワークを構築・運用できる能力を有している。</p> <p>④ アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力を有している。</p> <p>⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑦ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑧ 修士学位取得者としての使命を自覚し，高い倫理観を有している。</p>	<p>① 社会学，政治学，経済学，経営学，文化人類学や，それらに関連する学際分野，融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため，各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し，さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を，各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため，専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ，広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため，他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため，研究指導は，主指導教員と，主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>マネジメントプログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 職業上の経験に根ざしたマネジメントに関わる深い問題意識を持ち，研究意欲の旺盛な社会人</p> <p>② 現代社会の様々な現場で組織が直面するマネジメント上の課題について，高い関心と旺盛な勉学意欲を持つ人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

国際 平和 共生 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	国際社会が抱える様々な問題に対して、紛争解決、平和構築などを専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要能力、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者・高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>国際平和共生プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（国際協力学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 公正・公平な社会の実現及び包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、文化人類学、政治学、法学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識と研究能力を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究に関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>国際平和共生プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究のいずれかに関連する学問領域、あるいはそれらの融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人</p> <p>② それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力 NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

国際 経済 開発 プロ グラ ム	養成する人材像		
	経済発展・貧困削減・環境保全などの開発途上国の開発課題に対し、健全な経済発展を推進するための理論と分析手法の習得を通じて、持続可能な開発に資する処方箋を作成し、実践できる人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>国際経済開発プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（国際協力学）、修士（経済学）、修士（経営学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 長期のグローバルな経済発展を俯瞰し、開発途上国の諸課題とその解決における経済開発の重要性を議論するための高度な知識・分析能力を身に付けている。</p> <p>② エビデンスやデータに基づいた議論や意思決定をするための高度な分析能力や判断能力を身に付けている。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ グローバル・マインドを持った実践者として、コミュニケーションとプレゼンテーションができる能力を身に付けているとともに、実践に必要なリーダーシップを発揮する実行力を備えている。</p> <p>⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 経済学、経営学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>国際経済開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い関心を持って、開発途上国が直面するグローバルな諸問題に挑みたい人</p> <p>② 健全な経済開発に資する社会科学的研究を志向する人</p> <p>③ 国際人としての共感を持って、多様な人々と協働できる人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

人間総合科学プログラム	養成する人材像		
	<p>中核となる深い専門性に加え、関連領域についての幅広い知識と方法論を有する多角的視野と理解力を有している研究者。学問分野の枠を超えて多角的・鳥瞰的視点から現象の分析を行い、解決に向けて複数分野の専門家と協働する研究チームのリーダーとして活躍することのできるリサーチマネージャー。企業や行政等が直面している諸問題に対して、深い専門性と広い知識をベースに、他分野の専門家と協働して的確に課題解決のできる能力を有する人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
人間総合科学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（学術）」の学位を授与する。		人間総合科学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求めらる。	
<p>① 専門分野に関する高度な知識・技能を身に付けるとともに、学問分野の枠を超えた総合科学的視点を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養を身に付け、狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>③ 人間の生き方や社会の在り方、自然界に対する理解と洞察を基盤に、高度な倫理観と複眼的思考力を有し、持続可能で平和な社会の構築、または持続可能な発展を導く科学の創生に貢献できる能力を有している。</p> <p>④ 複数分野の専門家で構成されるチームの一員として、社会の諸課題の解明解決に協動的に取り組むことができる行動力を有している。</p> <p>⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 中核となる専門分野の知識や方法論を獲得するための文系理系にわたる学問分野の基盤となる科目と専門性の高い科目及び幅広い知識や思考力を深めるための科目からなる専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>① 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず、新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造したいと思う人</p> <p>② 幅轉する現実社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を理解するとともに課題解決の道を明らかにしたいと思う人</p> <p>③ 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程前期】

教師教育デザイン学プログラム	養成する人材像		
	<p>これからの社会で求められる教育のあり方を、(a) 学びが成り立つ場（空間）、(b) 学びを引き出す仕掛け（カリキュラム・学習材）、(c) 学びを支える人（専門職）に着目し、デザインできる教師教育者（teacher educator）。</p> <p>特に、学校で育成すべき学力、教育課程・教科教育と指導・評価法、特別活動、ICT環境、学校・教室の経営、対人関係支援や学習支援等の現状と課題を分析し、エビデンスに基づいて教育改革のビジョンを構想、提案できる実践的研究力を有する教師教育者</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>教師教育デザイン学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（教育学）、修士（教育心理学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校教育に関わる学習空間における教育課題、すなわち家庭教育、学校組織、コミュニケーション、インクルーシブ教育、ICT環境等について、実態や先駆的な事例の調査・分析に基づいて、改善案を構想することができる知識・技能を有している。 ② 学校教育における教育課程に関わる教育課題、すなわち学力像や資質・能力、教科や学校カリキュラム、指導方法や教育評価等について、理論的、歴史的、比較教育学的な調査・分析に基づいて、改善案を構想することができる知識・技能を有している。 ③ 学校教育における学習材に関わる教育課題、すなわち学習者の発達、言語や社会生活、科学技術や文化、創造性と学習材との関係について、基盤となる研究領域の成果をふまえた調査・分析を行い、改善案を構想することができる知識・技能を有している。 ④ 学校教育に関わる教育支援専門職に関わる教育課題、すなわち特別支援教育、教員養成、現職研修やキャリアデザイン等に関して、実態的な調査に基づいて、改善案を構想することができる知識・技能を有している。 ⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。 ⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。 ⑦ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。 ⑧ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 教科教育学、教育学、心理学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。 ② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。 ③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。 ④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。 	<p>教師教育デザイン学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校教育の教育内容や教育方法に関する基本的な専門的知識・技能を有する人 ② 自らの研究課題について情報を収集・分析し、論理的に思考できる人、また、自らの考えを適切に表現できる人 ③ 自らの研究課題について、主体的に取り組むことができる人 ④ 入学後は、自らの持つ教育に関する基本的な専門的知識・技能や教師としての資質・能力を、教師教育者としての研究能力、教師の成長の支援者としての資質・能力に高めることのできる人

人間社会科学部
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程前期】

教育学プログラム	養成する人材像		
	<p>教育に関する高度な識見と総合的な判断力を有する人材。 具体的には、博士課程後期進学者、公・民で働く教育関係分野の専門家、高等教育機関の教育・運営に実践的に貢献する人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文若しくは特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、「修士（教育学）」の学位を授与する。</p> <p>① 教育関連諸科学における諸概念や理論に関する専門的な知識を有し、これらを総合的に把握することができる。</p> <p>② 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学の研究手法や外国語運用能力を活用し、自ら設定した課題を分析・考察することができる。</p> <p>③ 自らの思考プロセスを論理的に説明し、伝達するためのコミュニケーション能力を持っている。</p> <p>④ 学術的な知見を応用して、具体的な教育課題に対する研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を展開し、その成果を発信できる。</p> <p>⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑦ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑧ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>教育学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 教育関連諸科学に関する事象に関心を持っている人</p> <p>② 教育関連諸科学の諸概念や理論に関する基礎的な知識を有している人</p> <p>③ 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学研究で用いられる研究手法や外国語運用能力を活かして教育に関する事象を批判的、論理的に考察できる人</p> <p>④ 教育学研究上の諸問題について、他者との議論や学術専門書を通じて教育学に対する問題意識を高め、研究に備えられる人</p> <p>⑤ 本プログラムの教育課程を履修することにより、教育学の専門的な知識と研究のスキルを修得し、博士課程後期を経て大学教員になろうとする人をはじめ、教育関係分野の公務員、各種生涯学習機関の指導者、民間事業所等における企業内教育専門家、国際協力専門家、大学等の高等教育の現場で運営・企画に携わる高等教育専門家になる意欲をもつ人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程前期】

日 本 語 教 育 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	国内外の教育機関や職域で増加の一途をたどる多様な日本語学習者（子どもから大人まで）の学習ニーズに対応し、それぞれの教育現場で先導的な役割を担うことをとおして、グローバル社会の持続・発展に貢献することができる日本語教育の実践的研究者		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	日本語教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（教育学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。		日本語教育学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。
	<p>① 急速に進むグローバル化の下、国内外において、増加の一途をたどる日本語学習者（児童から成人まで）に対応し得る、高度な知識・技能を有している。</p> <p>② グローバル・マインドを持った日本語教育の研究者・教育者となるために、「言語」「教育」「心理」「文化」「社会」にわたる日本語教育学を構成する幅広い領域において、理論・実践の質的向上に資する高度な教育研究能力（思考力・判断力・表現力）を有している。</p> <p>③ 日本語学習者と日本語母語話者が共修する中で、日本語や日本文化についての理解を深めるという新たな「学び」を構築・支援できる能力（主体性・協働性）を有している。</p> <p>④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>⑤ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>⑥ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑦ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 日本語教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>① 日本語・日本文化研究に関する基本的な専門的知識を有する人、日本語に関する高度な運用能力を持つ人</p> <p>② 自らの研究課題について情報を収集・分析し、論理的に思考できる人、また、自らの考えを適切に表現できる人</p> <p>③ 自らの研究課題について、周囲の人々と協力しつつ主体的に取り組むことができる人</p> <p>④ 日本語・日本文化に関する専門的知識と自らの研究課題に主体的に取り組む態度を身につけている人</p> <p>⑤ 入学後は、国内外の教育機関において指導的な立場を担い得る日本語教育専門家、日本語教育をめぐる諸領域において学際的・独創的な研究を発信できる研究者として活躍するために、周囲の人々と協働して日本語・日本文化とその学習・理解について学ぶことができる人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程前期】

国際教育開発プログラム	養成する人材像		
	国際社会が抱える様々な問題に対して、生涯にわたる質の高い教育の実現を専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要な能力、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者及び高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>国際教育開発プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、修士論文及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「修士（教育学）、修士（国際協力学）、修士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 質の高い生涯教育の実現に貢献できる、教育学などを基盤として、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識と研究能力を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。</p> <p>③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。</p>	<p>① 教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目を体系的に提供するプログラム専門科目を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。</p> <p>③ 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導体制で行う特別研究を開設する。</p>	<p>国際教育開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に、教育学に関連する学問領域、あるいはその融合領域における専門的知識と研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取れ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人</p> <p>② それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、研究者や高度な専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

人 文 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法とを身に付け、それらを統合して新たな創造につなげることが出来る高度な研究力を有し、専門分野において卓越した研究成果を上げるに十分な能力を備えた人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
人文学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、「博士（文学）」の学位を授与する。		人文学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求めらる。	
① 国際的な視野に立った学際的な学識を備えている。	① 言語学、文学、哲学、史学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。	① 論理的思考力、創造力、語学力など、人文学を学ぶために必要な高度な専門性を身に付けている人	
② 研究者としての専門分野の研究を自立して遂行できる能力を有している。	② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。	② 柔軟で批判的な精神を持ち、主体的に卓越した専門性の学習や先端的な研究を行う意欲のある人	
③ 高度な専門業務に従事するための卓越した能力を有している。	③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。	③ 原典・資料に基づいて、人間、文化、歴史、環境について幅広く深く考察したい人	
④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。	④ 卓越した専門性を活かして世界に羽ばたきたいという意欲を持つ人	
⑤ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。		
⑥ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。			
⑦ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。			

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

心 理 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	<p>心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる能力，現代社会における人間の心に関する課題を認識し，それらを解決するための資質を有し，人間の心理に関するさまざまな事象及び諸課題に関する先端的な研究を推進できる人材。特に，博士課程前期の心理学先端研究コースと臨床心理学実践・研究コースにおいて培われた多様な視点に立つ研究力，臨床実践力を基盤として，さらに研究力を伸長することにより，心理学各領域の先端的な研究を国内外で推進できる研究者，及び，保健医療，福祉，教育，司法・犯罪，産業・労働などの現場で活動しつつ国内外で研究を推進できる高度専門職業人</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>心理学プログラムでは，以下の能力を身に付け，所定の単位数を修得し，博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に，「博士（心理学）」の学位を授与する。</p> <p>① 認知・生理，社会，教育・学習，発達・幼児，臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる卓越した能力を有している。</p> <p>② 現代社会における人間の「こころ」に関する課題を強く認識し，それらを解決するための資質を十分に有している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し，極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>心理学や，それらに関連する学際分野，融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため，特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し，さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため，研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため，特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため，主指導教員と，主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け，学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため，特別研究を開設する。</p>	<p>心理学プログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 現代社会における人間の「こころ」に関する多様な課題に積極的な関心を持つ人</p> <p>② 人間の行動と心理過程に関わる先端的な研究と専門性を追求する人</p> <p>③ 入学後に，認知・生理，社会，教育・学習，発達・幼児，臨床等の心理学各領域の多様な視点から「こころ」に関する多様な課題を解決するための方法，先端的な研究を実践するための能力・技法を身に付け，問題解決への意欲や態度を形成し，人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

法 学 ・ 政 治 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	法学、政治学、国際関係論、社会学等の社会科学領域について、博士課程前期又は修士課程での研究実績を踏まえたうえで、さらなる専門知識や分析手法を修得し、事例や課題等についての新たな発見・解明を行い、新たな概念設定や理論的視点の提供等により高度専門職業人としての能力を持つ、又は研究者として自立し、高度で先端的、独創的な専門研究能力を備えている人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>法学・政治学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士(法学)、博士(学術)」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 卓越した専門知識や分析手法を修得している。</p> <p>② 事例や課題等についての新たな発見・解明を促す能力を有している。</p> <p>③ 新たな概念や論理的視点を提供できる能力を有している。</p> <p>④ 高度で先端的、独創的な専門研究能力を有している。</p> <p>⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑦ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑧ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 社会学、法学、政治学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>法学・政治学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に、法学、政治学、国際関係論、社会学、および関連する学問領域における卓越した知識と高度で先端的、独創的な研究能力を身に付け、官公庁、企業、NPO、医療現場等での活躍や大学教員を目指す人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

経済学プログラム	養成する人材像		
	経済システムや社会システムの直面する様々な問題を、積極的かつ能動的に解決できる能力を修得し、専門分野の高度な分析ツールの実践的能力を身に付け、また、周辺分野についても深く理解している研究者及び高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>経済学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（経済学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、分析ツールの実践的能力を有している。</p> <p>② 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、最新の知見の提議を自らに課す能力を有している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 経済学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかつ活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>経済学プログラムでは、以下のよう志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 歴史や社会問題への関心が高く、経済学及び周辺分野への知的好奇心にあふれ、地道な努力をいとわない人</p> <p>② 有職者にあつては、職場において直面している懸案を科学の目で再度、先端的な分析・検討を加えてみようという志を抱いている人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

マ ネ ジ メ ン ト プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	<p>①地域の経済，社会，文化における独立心あるいは起業心とそれを行動に移す能力 ②様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力 ③情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し，ネットワークを構築・運用できる能力 ④アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力 博士課程後期においては，これらの基盤的知識や能力に加え，学術的知見と応用的知見を身に付け，理論と実践の融合を図れる研究者及び教育と研究の現場で実践できる人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>マネジメントプログラムでは，以下の能力を身に付け，所定の単位数を修得し，博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に，研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（マネジメント），博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 地域の経済，社会，文化における独立心あるいは起業心を有している。 ② 様々な組織の運営にかかわる卓越した専門的知識と能力を有している。 ③ 情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し，ネットワークを構築・運用できる能力を有している。 ④ アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力を有している。 ⑤ 理論と実践の融合を図り，教育と研究の現場で実践できる能力を有している。 ⑥ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。 ⑦ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。 ⑧ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。 ⑨ 博士学位取得者としての使命を自覚し，極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 社会学，政治学，経済学，経営学，文化人類学や，それらに関連する学際分野，融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため，特別研究を開設する。 ② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し，さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため，研究科共通科目を開設する。 ③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため，特別研究を開設する。 ④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため，主指導教員と，主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。 ⑤ 社会における問題に目を向け，学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため，特別研究を開設する。</p>	<p>マネジメントプログラムでは，以下のような志や意欲をもち，それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① マネジメント分野における卓越した研究能力を身に付けたい人 ② マネジメント分野における職業的研究者を志向する人 ③ 博士課程前期における研究テーマをさらに発展させるために先端的な研究を継続したい人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

国際 平和 共生 プロ グラ ム	養成する人材像		
	国際社会が抱える様々な問題に対して、紛争解決、平和構築などを専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究者として自立的に研究を行う能力と国際的で高度に専門的な業務に従事するために必要な専門性及び、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者及び高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>国際平和共生プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（国際協力学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 公正・公平な社会の実現及び包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における卓越した専門的知識と研究能力を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究に関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにか活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>国際平和共生プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究などのいずれかに関連する学問領域、あるいはそれらの融合領域における専門的知識と卓越した研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取ることができ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人</p> <p>② それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、先端的な研究者や卓越した高度専門的職業人としての資質、能力の獲得を目指す人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

国際経済開発プログラム	養成する人材像		
	<p>経済発展・貧困削減・環境保全などの開発途上国の開発課題に対し、健全な経済発展を推進するための理論と分析手法の習得を通じて、持続可能な開発に資する処方箋を作成し、さらに実践を先導する研究者及び高度専門職業人</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>国際経済開発プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（国際協力学）、博士（経済学）、博士（経営学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 長期のグローバルな経済発展を俯瞰し、開発途上国の諸課題とその解決における経済開発の重要性を議論するための卓越した知識・分析能力を身に付けている。</p> <p>② エビデンスやデータに基づいた議論や意思決定をするための卓越した分析能力や判断能力を身に付けている。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ グローバル・マインドを持った実践者として、コミュニケーションとプレゼンテーションができる能力を身に付けているとともに、実践に必要なリーダーシップを発揮する実行力を備えている。</p> <p>⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 経済学、経営学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにか活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>国際経済開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い関心を持って、開発途上国が直面する多様でグローバルな諸問題に挑みたい人</p> <p>② 健全な経済開発を先導する社会科学者を志向する人</p> <p>③ 国際人としての共感を持って、多様な人々と協働できる人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

人間総合科学プログラム	養成する人材像		
	<p>中核となる深い専門性に加え、関連領域についての幅広い知識と方法論を有する多角的視野と理解力を有している研究者。学問分野の枠を超えて多角的・鳥瞰的視点から現象の分析を行い、解決に向けて複数分野の専門家と協働する研究チームのリーダーとして活躍することのできるリサーチマネージャー。企業や行政等が直面している諸問題に対して、深い専門性と広い知識をベースに、他分野の専門家と協働して的確に課題解決のできる能力を有する人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>人間総合科学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、「博士（学術）」の学位を授与する。</p> <p>① 専門分野を重点的に研究し、卓越した専門知識と技能を身に付けるとともに、学問分野の枠組みを超えた分野融合による総合科学的視点を十分に有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と高い倫理性を身に付け、狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視点と実践的行動力を有している。</p> <p>③ 人間の社会的在り方や生き方、自然界に対する理解と洞察を基盤に、高度な倫理観と複眼的思考力を有し、持続可能で平和な社会の構築、または持続可能な発展を導く科学の創生をリードできる能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして、社会の諸課題の解明解決に積極的かつ協調的に取り組むことのできる行動力を有している。</p> <p>⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 中核となる専門分野の知識や方法論を獲得するための文系理系にわたる学問分野の基盤となる科目と専門性の高い科目及び幅広い知識や思考力を深めるため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかつ活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>人間総合科学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず、新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造し先導したいと思う人</p> <p>② 輻輳する現実社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を深く理解するとともに課題解決の道を明らかにしたいと思う人</p> <p>③ 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明するとともに課題を解決する能力を身に付けたいと思う人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程後期】

教師教育デザイン学プログラム	養成する人材像		
	<p>これからの社会で求められる教育のあり方を、(a) 学びが成り立つ場（空間）、(b) 学びを引き出す仕掛け（カリキュラム・学習材）、(c) 学びを支える人（専門職）に着目し、戦略的にデザインできる教師教育者（teacher educator） 特に、大学の教職課程プログラム、公立校・附属校の実習指導、学校現場における授業研究（lesson study）、教育センターの研修プログラム等の現状と課題を分析し、エビデンスに基づいて代替のストラテジーを構想、実践できる実践的研究力を有する教師教育者</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	<p>教師教育デザイン学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（教育学）、博士（教育心理学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 高度化する専門職としての教師を含む教育の状況を調査に基づいて分析し、問題や課題を究明するとともに、それらを解決するための改善案や将来的なビジョンを提案することができる実践的な研究力を有している。</p> <p>② 高度化する専門職としての教師を養成し、研修を行い、成長を促す存在としての教師教育者に必要な教育力を有している。</p> <p>③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 教科教育学、教育学、心理学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかつ活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>教師教育デザイン学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 学校教育の教育内容や教育方法に関する専門的知識・技能、教師としての経験を有する人</p> <p>② 自らの研究課題について情報を収集・分析し、論理的に思考できる人、また、自らの考えを適切に表現できる人</p> <p>③ 自らの研究課題について、主体的に取り組むことができる人</p> <p>④ 入学後は、自らの持つ教育に関する専門的知識・技能や教師としての資質・能力を、教師教育者としての研究能力、教師の成長の支援者としての資質・能力に幅広く高めることのできる人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程後期】

教育 学 プ ロ グ ラ ム	養成する人材像		
	<p>教育に関する総合的な学識に裏打ちされた高度な研究能力を有し、教育能力をもつとともにその能力開発を推進できる人材。 具体的には、教育学の研究者、大学の教職課程を担う教員、高等教育機関の教育・運営に貢献する人材</p>		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、「博士（教育学）」の学位を授与する。</p> <p>① 教育関連諸科学における諸概念や理論に関する高度な専門的知識を十分に有し、これらを総合的に把握することができる。</p> <p>② 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学研究で用いられる研究手法や外国語運用能力を自在に活用できる。</p> <p>③ 具体的な教育課題に対して、高度な研究手法を応用し、分析的・批判的・応用的に学術的研究を推進できる。</p> <p>④ 研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を、学術的な知見の蓄積に基づいて発展的に展開し、その成果を国際的に発信できる。</p> <p>⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑦ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑧ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>教育学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 教育関連諸科学の諸概念や理論に関する高度な専門的知識を有している人</p> <p>② 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学研究で用いられる研究手法や外国語運用能力を活用できる人</p> <p>③ 具体的な教育課題に対して、研究手法を応用し、分析的・批判的に判断できる人</p> <p>④ 研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を発展的に継続することができる人</p> <p>⑤ 本プログラムの教育課程を履修することにより、教育学の専門的かつ高度な知識と卓越した研究のスキルを修得し、大学をはじめとする高等教育機関の教職員、高度専門職業人や教育研究機関の研究員、政策立案等を担う行政官として、グローバルに活躍する意欲をもつ人</p>	

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程後期】

日本語教育プログラム	養成する人材像		
	日本語教育及び日本語・日本文化に関する高度な専門的知識と研究能力を有し、国内外の高等教育機関に日本語教育者として就職し、第二言語としての日本語の教育を推進・発展させるとともに、外国語・外国文化という観点から、日本語・日本文化に関する研究を行うことができる、またそのような研究プロジェクトの中心的役割を担うことができる人材		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
	日本語教育学プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（教育学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。		日本語教育学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。
	<p>① 急速に進むグローバル化の下、国内外において、増加の一途をたどる日本語学習者（児童から成人まで）に対応し得る、卓越した知識・技能を有している。</p> <p>② グローバル・マインドを持った日本語教育の研究者・教育者となるために、「言語」「教育」「心理」「文化」「社会」にわたる日本語教育学を構成する幅広い領域において、理論・実践の質的向上に資する卓越した教育研究能力（思考力・判断力・表現力）を有している。</p> <p>③ 日本語学習者と日本語母語話者が共修する中で、日本語や日本文化についての理解を深めるという新たな「学び」を構築・支援できる能力（主体性・協働性）を有している。</p> <p>④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>⑤ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>⑥ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑦ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 日本語教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかかすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>① 日本語・日本文化研究に関する基本的な専門的知識を有する人、日本語に関する高度な運用能力を持つ人</p> <p>② 自らの研究課題について情報を収集・分析し、論理的に思考できる人、また、自らの考えを適切に表現できる人</p> <p>③ 自らの研究課題について、周囲の人々と協力しつつ主体的に取り組むことができる人</p> <p>④ 日本語・日本文化に関する専門的知識と自らの研究課題に主体的に取り組む態度を身につけている人</p> <p>⑤ 入学後は、国内外の大学をはじめとする高等教育機関において指導的な立場を担い得る日本語教育専門家、日本語教育をめぐる諸領域において学際的・独創的・国際的な研究を発信できる研究者として幅広く活躍するために、周囲の人々と協働して日本語・日本文化とその学習・理解について学ぶことができる人</p>

人間社会科学研究科
養成する人材像と3つのポリシーの対比表

【教育科学専攻 博士課程後期】

国際教育開発プログラム	養成する人材像		
	国際社会が抱える様々な問題に対して、生涯にわたる質の高い教育の実現を専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究者として自立的に研究を行う能力と国際的で高度に専門的な業務に従事するために必要な専門性及び、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者・高度専門職業人		
	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>国際教育開発プログラムでは、以下の能力を身に付け、所定の単位数を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に、研究テーマ及び専門領域に応じて「博士（教育学）、博士（国際協力学）、博士（学術）」のいずれかの学位を授与する。</p> <p>① 質の高い生涯教育の実現に貢献できる、教育学などを基盤として、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における卓越した専門的知識と研究能力を有している。</p> <p>② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。</p> <p>③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。</p> <p>④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。</p> <p>⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。</p>	<p>① 教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。</p> <p>② 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学や社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。</p> <p>③ 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。</p> <p>④ 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む2人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。</p> <p>⑤ 社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかつ活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。</p>	<p>国際教育開発プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。</p> <p>① 幅広い教養と共に、教育学に関連する学問領域、あるいはその融合領域における高度な専門的知識と卓越した研究能力を身に付け、多様性を育む自由で平和な国際社会を実現するために、国際人としての共感を持って、多国籍の人々とコミュニケーションを取れ、連携して人類社会が抱える課題の解決を目指す人</p> <p>② それぞれの出身国はもとより国際社会での更なる活躍を志し、企業、国際機関、国際協力機関、国際協力 NGO、地元自治体などでの経験を踏まえ、大学院での学修や研究活動を通して、先端的な研究者や高度専門職業人としての資質、能力の獲得を目指す人</p>	

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

【人文社会科学専攻 博士課程前期】

対応科目の中で、科目指定のあるものは最低1科目を履修する。

研究倫理教育(大学院生 Basic), 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))は教育課程に無いが必修で受講することとしている。

人文学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法を身に付け、それらを統合して、新たな創造につなげることができる基礎力を有している。	プログラム専門科目の「講義科目」	1科目以上履修
② 学士課程教育によって修得した能力を発展させ、専門分野における研究能力と、高度な専門性を必要とする職業を担うための優れた能力を有している。	プログラム専門科目の「演習・実習・実験科目」	1科目以上履修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分1科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目(異分野協働プロジェクト) 特別研究	特別研究必修
⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

心理学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 認知・生理, 社会, 教育・学習, 発達・幼児, 臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる高度な能力を有している。	領域専門科目	1科目以上履修
② 現代社会における人間の「こころ」に関する課題を認識し、それらを解決するための資質を有している。	研究基礎力養成科目 実践力養成科目	各区分1科目以上履修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分1科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

法学・政治学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 現代の国内・国際社会がかかえる事例分析及び社会調査等に関する高度な知見・手法を修得している。	プログラム専門科目 「特別研究」における論文作成の指導の中で、その研究課題と各学生が履修した科目の内容を指導教員が統合的に結び付ける（科目履修の指導も含む）ことを通して、本能力を修得する。	指定なし（指導教員グループの履修指導で実施）
② 具体的な社会問題等の解決に向けた事例・現状分析及び戦略立案の作成に関する高度な知見・手法を修得している。	プログラム専門科目 「特別研究」における論文作成の指導の中で、その研究課題と各学生が履修した科目の内容を指導教員が統合的に結び付ける（科目履修の指導も含む）ことを通して、本能力を修得する。	指定なし（指導教員グループの履修指導で実施）
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

経済学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 国内経済及び国際経済についての理論的及び歴史的視点を持ち、経済的・社会的諸問題に関する客観的で事実に基づいた解放を模索する高度な能力を有している。	プログラム専門科目 「特別研究」における論文作成の指導の中で、その研究課題と各学生が履修した科目の内容を指導教員が統合的に結び付ける（科目履修の指導も含む）ことを通して、本能力を修得する。	指定なし（指導教員グループの履修指導で実施）
② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
③ 未体験の事態でも対応可能な	特別研究	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。		
④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

マネジメントプログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 地域の経済、社会、文化における独立心あるいは起業心を有している。	アントレプレナーシップ、イノベーション・マネジメント論、経営戦略論、市場戦略論、マーケティング論、地域協力論、異文化コミュニケーション論、地域分析、公共経営論、地域経営論、マネジメント特講（地域創成論）	1科目以上履修
② 様々な組織運営に関わる専門的な知識を有している。	組織行動論、人的資源管理論、組織間関係論、CSR論、財務会計論、会計政策論、コスト・マネジメント、管理会計論、税法コンプレッション、国際関係論、マネジメント特講（サステイナビリティ・マネジメント論）	1科目以上履修
③ 情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し、ネットワークを構築・運用できる能力を有している。	企業とコミュニケーション、組織行動論、国際マーケティング戦略論、財務会計論、税法ケーススタディ、社会心理学特論、異文化コミュニケーション論、比較文化論、社会行動データ解析、情報システム管理学、情報ネットワーク論	1科目以上履修
④ アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力を有している。	経営組織論、異文化交渉学、アジア企業論、アジア消費・流通論、アジアビジネス事情、ビジネス日本語、アジアベンチャービジネス論、マネジメント特講（日本の組織と経営）	1科目以上履修
⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目 リサーチ・リテラシー	各区分1科目以上履修
⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑦ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑧ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有して	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

いる。	Advanced(M)	
-----	-------------	--

国際平和共生プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① SDGs の目標 5, 10 に関して、公正・公平な社会の実現に、目標 16, 17 に関して、包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、文化人類学、政治学、法学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識と研究能力を有している。	プログラム専門科目	指定なし（指導教員グループの履修指導で実施）
② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

国際経済開発プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 長期のグローバルな経済発展を俯瞰し、開発途上国の諸課題とその解決における経済開発の重要性を議論するための高度な知識・分析能力を身に付けている。	応用科目	1 科目以上履修
② エビデンスやデータに基づいた議論や意思決定をするための高度な分析能力や判断能力を身に付けている。	基礎科目 コア科目	各区分 1 科目以上履修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ グローバル・マインドを持った実践者として、コミュニケーションとプレゼンテーションが	国際経済開発プログラムでは、授業を全て英語で実施し演習形式での指導教員による論文や研究全般に	指定なし（指導教員グループの履修指導で実施）

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

できる能力を身に付けているとともに、実践に必要なリーダーシップを発揮する実行力を備えている。	ついでにの指導を行うカリキュラムとしているため、演習等を通じて能力を身に付ける。	
⑥ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

人間総合科学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 専門分野に関する高度な知識・技能を身に付けるとともに、学問分野の枠を超えた総合科学的視点を有している。	総合科学演習及びe-ポートフォリオを活用して、学生の主たる専門領域の知識・技能を深めるとともに、関連領域への学習を促し、学問分野の枠を超えた知識を獲得させ、総合科学的視点を涵養する。	総合科学演習必修
② 幅広く深い教養を身に付け、狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分1科目以上履修
③ 人間の生き方や社会の在り方、自然界に対する理解と洞察を基盤に、高度な倫理観と複眼的思考力を有し、持続可能で平和な社会の構築、または持続可能な発展を導く科学の創生に貢献できる能力を有している。	特別研究	必修
④ 複数分野の専門家で構成されるチームの一員として、社会の諸課題の解明解決に協動的に取り組むことができる行動力を有している。	研究科共通科目(異分野協働プロジェクト)、総合科学演習及び特別研究並びに教員とともにプロジェクト研究に参加することで、チームの一員としての協働のあり方を実践的に学ぶ。	総合科学演習及び特別研究必修
⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

研究倫理教育(大学院生 Basic), 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))は教育課程に無いが必修で受講することとしている。

人文学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 国際的な視野に立った学際的な学識を備えている。	特別研究	必修
② 研究者としての専門分野の研究を自立して遂行できる能力を有している。	特別研究	必修
③ 高度な専門業務に従事するための卓越した能力を有している。	特別研究	必修
④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分 1 科目以上履修
⑤ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑥ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目 (プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修
⑦ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

心理学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 認知・生理, 社会, 教育・学習, 発達・幼児, 臨床等の心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる卓越した能力を有している。	特別研究	必修
② 現代社会における人間の「こころ」に関する課題を強く認識し、それらを解決するための資質を十分に有している。	特別研究	必修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分 1 科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目 (プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修
-------------------------------------	--	----

法学・政治学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 卓越した専門知識や分析手法を修得している。	特別研究	必修
② 事例や課題等についての新たな発見・解明を促す能力を有している。	特別研究	必修
③ 新たな概念や論理的視点を提供できる能力を有している。	特別研究	必修
④ 高度で先端的、独創的な専門研究能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑦ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目(プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修
⑧ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

経済学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、分析ツールの実践的能力を有している。	特別研究	必修
② 経済学の領域全般に関する学問的成果の展望と最前線の研究成果に通じ、最新の知見の提議を自らに課す能力を有している。	特別研究	必修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目(プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修
-------------------------------------	--	----

マネジメントプログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 地域の経済、社会、文化における独立心あるいは起業心を有している。	特別研究	必修
② 様々な組織の運営にかかわる卓越した専門的知識と能力を有している。	特別研究	必修
③ 情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し、ネットワークを構築・運用できる能力を有している。	特別研究	必修
④ アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 理論と実践の融合を図り、教育と研究の現場で実践できる能力を有している。	特別研究	必修
⑥ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
⑦ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑧ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目(プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修
⑨ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

国際平和共生プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 公正・公平な社会の実現及び包摂性を持つ平和な社会の実現に貢献できる、平和学、政治学、法学、文化人類学、地域研究などを基盤として、複合的な平和の理解を持ち、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における卓越した専門的知識と研究能力を有している。	特別研究	必修
② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
③ 未体験の事態でも対応可能な	特別研究	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。		
④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

国際経済開発プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 長期のグローバルな経済発展を俯瞰し、開発途上国の諸課題とその解決における経済開発の重要性を議論するための卓越した知識・分析能力を身に付けている。	特別研究	必修
② エビデンスやデータに基づいた議論や意思決定をするための卓越した分析能力や判断能力を身に付けている。	特別研究	必修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ グローバル・マインドを持った実践者として、コミュニケーションとプレゼンテーションができる能力を身に付けているとともに、実践に必要なリーダーシップを発揮する実行力を備えている。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

人間総合科学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 専門分野を重点的に研究し、卓越した専門知識と技能を身に付けるとともに、学問分野の枠組みを超えた分野融合による総合科学的視点を十分に有している。	特別研究	必修
② 幅広く深い教養と高い倫理性を身に付け、狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

視点と実践的行動力を有している。		
③ 人間の社会的在り方や生き方，自然界に対する理解と洞察を基盤に，高度な倫理観と複眼的思考力を有し，持続可能で平和な社会の構築，または持続可能な発展を導く科学の創生をリードできる能力を有している。	特別研究	必修
④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして，社会の諸課題の解明解決に積極的かつ協調的に取り組むことができる行動力を有している。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し，極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

【教育科学専攻 博士課程前期】

対応科目の中で、科目指定のあるものは最低1科目を履修する。

研究倫理教育(大学院生 Basic), 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))は教育課程に無いが必修で受講することとしている。

教師教育デザイン学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 学校教育に関わる学習空間における教育課題, すなわち家庭教育, 学校組織, コミュニケーション, インクルーシブ教育, ICT環境等について, 実態や先駆的な事例の調査・分析に基づいて, 改善案を構想することができる知識・技能を有している。	【基幹領域】における科目を選択必修とし, さらに【展開領域】における科目を複数の科目群に亘って履修させることにより, ①から④を実現する。	指定なし (指導教員グループの履修指導で実施)
② 学校教育における教育課程に関わる教育課題, すなわち学力像や資質・能力, 教科や学校カリキュラム, 指導方法や教育評価等について, 理論的, 歴史的, 比較教育学的な調査・分析に基づいて, 改善案を構想することができる知識・技能を有している。		
③ 学校教育における学習材に関わる教育課題, すなわち学習者の発達, 言語や社会生活, 科学技術や文化, 創造性と学習材との関係について, 基盤となる研究領域の成果をふまえた調査・分析を行い, 改善案を構想することができる知識・技能を有している。		
④ 学校教育に関わる教育支援専門職に関わる教育課題, すなわち特別支援教育, 教員養成, 現職研修やキャリアデザイン等に関して, 実態的な調査に基づいて, 改善案を構想することができる知識・技能を有している。		
⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分1科目以上履修
⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	基幹領域	1科目以上履修
⑦ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目(異分野協働プロジェクト) 基幹領域	基幹領域1科目以上履修
⑧ 修士学位取得者としての使命を自覚し, 高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

教育学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
<p>① 教育関連諸科学における専門的知識を十分に有し、これらを用いて人間形成の視点から総合的に把握することができる能力を有している。</p>	<p>教育哲学特講 I, 教育哲学特講 II, 日本東洋教育史特講 I, 日本東洋教育史特講 II, 西洋教育史特講 I, 西洋教育史特講 II, 教育社会学特講 I, 教育社会学特講 II, 教育方法学特講 I, 教育方法学特講 II, 社会教育学特講 I, 社会教育学特講 II, 教育行財政学特講 I, 教育行財政学特講 II, 比較教育学特講 I, 比較教育学特講 II, 教育経営学特講 I, 教育経営学特講 II, 幼児教育学特講 I, 幼児教育学特講 II, 異文化間理解の社会理論と実践特講 I, 異文化間理解の社会理論と実践特講 II, 他プログラム専門科目</p>	<p>1 科目以上履修</p>
<p>② 外国語運用能力, 情報収集, 統計分析, 観察法, 情報処理など, 教育学の諸領域の研究手法を自在に活用できる能力を有している。</p>	<p>教育調査統計学演習, 教育学フィールドワーク演習, 教育哲学演習 I, 教育哲学演習 II, 日本東洋教育史演習 I, 日本東洋教育史演習 II, 西洋教育史演習 I, 西洋教育史演習 II, 教育社会学演習 I, 教育社会学演習 II, 教育方法学演習 I, 教育方法学演習 II, 社会教育学演習 I, 社会教育学演習 II, 教育行財政学演習 I, 教育行財政学演習 II, 比較教育学演習 I, 比較教育学演習 II, 教育経営学演習 I, 教育経営学演習 II, 幼児教育学演習 I, 幼児教育学演習 II, 高等教育基礎論 I</p>	<p>1 科目以上履修</p>
<p>③ 自ら設定した課題を適切な研究手法を用いて分析・考察できる研究スキルを修得している。</p>	<p>教育哲学演習 I, 教育哲学演習 II, 日本東洋教育史演習 I, 日本東洋教育史演習 II, 西洋教育史演習 I, 西洋教育史演習 II, 教育社会学演習 I, 教育社会学演習 II, 教育方法学演習 I, 教育方法学演習 II, 社会教育学演習 I, 社会教育学演習 II, 教育行財政学演習 I, 教育行財政学演習 II, 比較教育学演習 I, 比較教育学演習 II, 教育経営学演習 I, 教育経営学演習 II, 幼児教育学演習 I, 幼児教育学演習 II, 高等教育基礎論 I</p>	<p>1 科目以上履修</p>
<p>④ 自らの思考プロセスを論理的に説明し, 伝達するためのコミュニケーション能力を有している。</p>	<p>教育哲学特講 I, 教育哲学特講 II, 日本東洋教育史特講 I, 日本東洋教育史特講 II, 西洋教育史特講 I, 西洋教育史特講 II, 教育社会学特講 I, 教育社会学特講 II, 教育方法学特講 I, 教育方法学特講 II, 社会教育学特講 I, 社会教育学特講 II, 教育行財政学特講 I, 教育行財政学特講 II, 比較教育学特講 I, 比較教育学特講 II, 教育経営学特講 I, 教育</p>	<p>1 科目以上履修</p>

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

	経営学特講 II, 幼児教育学特講 I, 幼児教育学特講 II, 異文化間理解の社会理論と実践特講 I, 異文化間理解の社会理論と実践特講 II, 特別研究	
⑤ 学術的な知見を応用して, 具体的な教育課題に対する研究開発・問題解決・政策立案など, 教育に関する研究・実践を展開し, その成果を発信できる能力を有している。	高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究	特別研究必修
⑥ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分 1 科目以上履修
⑦ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑧ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目 (プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修
⑨ 修士学位取得者としての使命を自覚し, 高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

日本語教育学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 急速に進むグローバル化の下, 国内外において, 増加の一途をたどる日本語学習者 (児童から成人まで) に対応し得る, 高度な知識・技能を有している。	日本語教育研究方法論, 日本語教育学研究プロジェクト	2 科目必修
② グローバル・マインドを持った日本語教育の研究者・教育者となるために, 「言語」「教育」「心理」「文化」「社会」にわたる日本語教育学を構成する幅広い領域において, 理論・実践の質的向上に資する高度な教育研究能力 (思考力・判断力・表現力) を有している。	日本語構造論特講, 社会言語学特講, 対照言語学特講, 日本語表現法特講, 年少者日本語教育特講, 日本語教育評価法特講, 日本語習得論特講, 言語教育心理学特講, 日本近代文学特講, 異文化間教育学特講, 文化社会学特講	1 科目以上履修
③ 日本語学習者と日本語母語話者が共修する中で, 日本語や日本文化についての理解を深めるといった新たな「学び」を構築・支援できる能力 (主体性・協働性) を有している。	日本語構造論演習, 社会言語学演習, 対照言語学演習, 日本語表現法演習, 年少者日本語教育演習, 日本語教育評価法演習, 日本語習得論演習, 言語教育心理学演習, 日本近代文学演習, 異文化間教育学演習, 文化社会学演習	1 科目以上履修
④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
⑤ 未体験の事態でも対応可能な	特別研究	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。		
⑥ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑦ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

国際教育開発プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① SDGs の目標 4 に関して、質の高い生涯教育の実現に貢献できる、教育学などを基盤として、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識と研究能力を有している。	大学院共通科目「Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace」、 「Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health」、 「SDGs への学問的アプローチ A」または「SDGs への学問的アプローチ B」を受講し、社会発展における多元的・統合的視点を身に付けるとともに、専攻共通科目の「日本の教育開発経験」を受講して、教育開発事象を多面的に見ることで、該当能力の基礎を形成し、教育学などを基盤として、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における高度な専門的知識をプログラム専門科目で身に付け、研究能力を特別研究の中で深める。	大学院共通科目と専攻共通科目の指定科目から 1 科目以上履修
② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない広い視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目 専攻共通科目	各区分 1 科目以上履修
③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と複眼的思考力に裏打ちされた課題発見能力を有している。	特別研究	必修
④ 多分野の専門家で構成されるチームの一員として社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（異分野協働プロジェクト） 特別研究	特別研究必修
⑤ 修士学位取得者としての使命を自覚し、高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

【教育科学専攻 博士課程後期】

研究倫理教育(大学院生 Basic), 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))は教育課程に無いが必修で受講することとしている。

教師教育デザイン学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 高度化する専門職としての教師を含む教育の状況を調査に基づいて分析し、問題や課題を究明するとともに、それらを解決するための改善案や将来的なビジョンを提案することができる実践的な研究力を有している。	特別研究	必修
② 高度化する専門職としての教師を養成し、研修を行い、成長を促す存在としての教師教育者に必要な教育力を有している。	特別研究	必修
③ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
④ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑤ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目 (プロジェクト研究) 特別研究	特別研究必修
⑥ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

教育学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 教育関連諸科学における諸概念や理論に関する高度な専門的知識を十分に有し、これらを総合的に把握することができる。	特別研究	必修
② 情報収集、統計分析、観察法、情報処理など、教育学研究で用いられる研究手法や外国語運用能力を自在に活用できる。	特別研究	必修
③ 具体的な教育課題に対して、高度な研究手法を応用し、分析的・批判的・応用的に学術的研究を推進できる。	特別研究	必修
④ 研究開発・問題解決・政策立案など、教育に関する研究・実践を、学術的な知見の蓄積に基づいて発展的に展開し、その成果を国際的に発信できる。	特別研究	必修
⑤ 幅広く深い教養と狭い専門領域	大学院共通科目	各区分1科目以上履修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	研究科共通科目	
⑥ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑦ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑧ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

日本語教育学プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 急速に進むグローバル化の下、国内外において、増加の一途をたどる日本語学習者（児童から成人まで）に対応し得る、卓越した知識・技能を有している。	特別研究	必修
② グローバル・マインドを持った日本語教育の研究者・教育者となるために、「言語」「教育」「心理」「文化」「社会」にわたる日本語教育学を構成する幅広い領域において、理論・実践の質的向上に資する卓越した教育研究能力（思考力・判断力・表現力）を有している。	特別研究	必修
③ 日本語学習者と日本語母語話者が共修する中で、日本語や日本文化についての理解を深めるという新たな「学び」を構築・支援できる能力（主体性・協働性）を有している。	特別研究	必修
④ 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
⑤ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
⑥ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑦ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

ディプロマ・ポリシーと教育課程等の対応

国際教育開発プログラム

ディプロマ・ポリシー	対応科目	修了要件等での担保
① 質の高い生涯教育の実現に貢献できる、教育学などを基盤として、関連する領域、あるいはそれらの融合領域における卓越した専門的知識と研究能力を有している。	特別研究	必修
② 幅広く深い教養と狭い専門領域にとらわれない学際的かつ国際的な視野を有している。	大学院共通科目 研究科共通科目	各区分1科目以上履修
③ 未体験の事態でも対応可能な高度な論理力と柔軟な複眼的思考力に裏打ちされた卓越した課題発見能力を有している。	特別研究	必修
④ 多分野の専門家で構成されるチームのリーダーとして社会における様々な課題解決に取り組む行動力を有している。	研究科共通科目（プロジェクト研究） 特別研究	特別研究必修
⑤ 博士学位取得者としての使命を自覚し、極めて高い倫理観を有している。	研究倫理教育(大学院生 Basic) 研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))	必修

○広島大学職員就業規則

(平成 16 年 4 月 1 日規則第 78 号)

広島大学職員就業規則

目次

第 1 章 総則(第 1 条—第 4 条)
第 2 章 任免
 第 1 節 採用(第 5 条—第 9 条)
 第 2 節 評価(第 10 条)
 第 3 節 昇任(第 11 条)
 第 4 節 異動(第 12 条・第 13 条)
 第 5 節 休職(第 14 条—第 17 条)
 第 6 節 退職(第 18 条—第 21 条)
 第 7 節 降任, 解雇(第 22 条—第 24 条)
 第 8 節 退職者の責務等(第 25 条—第 27 条)
第 3 章 給与(第 28 条)
第 4 章 服務(第 29 条—第 36 条の 2)
第 5 章 労働時間, 休日及び休暇等(第 37 条—第 41 条)
第 6 章 研修(第 42 条)
第 7 章 賞罰(第 43 条—第 47 条)
第 8 章 安全・衛生(第 48 条・第 49 条)
第 9 章 出張(第 50 条)
第 10 章 福利・厚生(第 51 条・第 52 条)
第 11 章 災害補償(第 53 条)
第 12 章 退職手当(第 54 条)
第 13 章 規則の解釈等(第 55 条)
附則

第 1 章 総則

(趣旨)

- 第 1 条 この規則は, 広島大学学則(平成 16 年 4 月 1 日規則第 1 号)第 21 条第 2 項の規定に基づき, 広島大学(以下「大学」という。)に勤務する職員の就業に関し必要な事項を定めるものとする。
- 2 この規則に定めのない事項については, 労働基準法(昭和 22 年法律第 49 号。以下「労基法」という。), 国立大学法人法(平成 15 年法律第 112 号。以下「法人法」という。)その他の法令の定めるところによる。
- (定義等)

第2条 この規則において「職員」とは、大学に勤務するすべての者(次条各号に掲げる者を除く。)をいう。

2 この規則において「教員」とは、職員のうち、教授、准教授、講師、助教及び助手並びに教頭、教諭、養護教諭及び栄養教諭をいう。

(適用範囲)

第3条 次の各号に掲げる者の就業に関し必要な事項は、それぞれ当該各号に掲げる規則の定めるところによる。

(1) 生物生産学部附属練習船豊潮丸に乗船勤務する者 広島大学船員就業規則(平成16年4月1日規則第79号)

(2) 第20条の規定により再雇用する者 広島大学再雇用職員就業規則(平成16年4月1日規則第80号)

(3) 専門的業務又は特定分野の業務に専ら従事させるために期間を定めて雇用する者(労働契約法(平成19年法律第128号。以下「労契法」という。)第18条の規定に基づき期間の定めのない労働契約へ転換した者(科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律(平成20年法律第63号)第15条の2の規定により読み替えられる者を含む。))を含む。) 広島大学契約職員就業規則(平成16年4月1日規則第101号)

(4) 臨時的若しくは季節的業務に従事させるために雇用する者又は大学の学生の身分を有する者(労契法第18条の規定に基づき期間の定めのない労働契約へ転換した者を含む。)(前号に掲げる者を除く。) 広島大学非常勤職員就業規則(平成16年4月1日規則第102号)

(遵守遂行)

第4条 大学及び職員は、それぞれの立場でこの規則を誠実に遵守し、その実行に努めなければならない。

第2章 任免

第1節 採用

(採用)

第5条 職員の採用は、選考によるものとする。

2 職員の採用に関し必要な事項は、広島大学職員任免規則(平成16年4月1日規則第81号。以下「任免規則」という。)で定める。

(赴任)

第6条 職員は、採用後直ちに赴任しなければならない。ただし、住居の移転を伴う場合等やむを得ない事由があると大学が認めたときは、採用の日から1週間以内に赴任するものとする。

(配置)

第7条 職員の配置は、大学の業務上の必要性及び本人の適性等を考慮して行う。

(労働条件の明示)

第8条 職員として採用しようとする者には、その採用に際して、次に掲げる労働条件に係る事項を記載した文書を交付するとともに、その他法令の定める労働条件について口頭又は文書で明示する。

- (1) 給与に関する事項(昇給の有無を含む。)
- (2) 労働契約の期間に関する事項
- (3) 就業の場所及び従事する業務に関する事項
- (4) 始業及び終業の時刻、所定労働時間を超える労働の有無、休憩時間、休日並びに休暇に関する事項
- (5) 交替制勤務をさせる場合は、就業時転換に関する事項
- (6) 退職に関する事項
- (7) 退職手当の有無
- (8) 賞与の有無

2 前項に掲げる事項について変更がある場合は、その内容について口頭又は文書で明示する。

(試用期間)

第9条 新たに採用した職員の試用期間は、その採用の日から起算して6月間(教諭については1年間)とし、その間その職務を良好な成績で遂行したときに本採用するものとする。ただし、大学が必要と認めるときは、試用期間を短縮し、若しくは延長し、又は設けないことがある。

2 大学は、前項の試用期間において、職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、本採用せず、解雇する。

- (1) 勤務成績が不良なとき。
- (2) 心身に故障があるとき。
- (3) その他職員としての適格性を欠くとき。

3 第23条第3項及び第24条の規定は、前項の規定に基づき試用期間中の者を解雇しようとする場合に準用する。ただし、試用期間が14日を経過していない者を解雇しようとする場合は除く。

4 試用期間は、勤続年数に通算する。

5 試用期間に関し必要な事項は、任免規則で定める。

第2節 評価

(勤務成績の評定)

第10条 職員の勤務成績について、評定を実施する。

第3節 昇任

(昇任)

第11条 職員の昇任は、総合的な能力の評価により行う。

2 昇任に関し必要な事項は、任免規則で定める。

第4節 異動

(異動)

第12条 大学は、業務の都合により、職員に配置換、併任又は在籍出向(以下「異動」という。)を命じることがある。

- 2 異動を命じられた職員は、正当な理由なくこれを拒むことができない。ただし、教員(教頭、教諭、養護教諭及び栄養教諭を除く。)は、教育研究評議会の審査の結果を踏まえたものでなければ、その意に反して配置換又は在籍出向を命じられることはない。
- 3 配置換又は在籍出向を命じられた職員は、保管中の備品、書類その他すべての物品を返還するとともに、指定された期日までに、業務の引継ぎを完了し、上司にその旨を報告しなければならない。
- 4 第6条の規定は、配置換及び在籍出向を命じられた場合に、これを準用する。
- 5 配置換及び併任の取扱いに関し必要な事項は、任免規則で定める。
- 6 在籍出向に関し必要な事項は、広島大学職員出向規則(平成16年4月1日規則第84号)及び広島大学クロスアポイントメント制度に関する規則(平成27年3月24日規則第54号)で定める。

(転籍出向)

第13条 大学は、業務の都合により、職員に転籍出向を命じることがある。

- 2 前項の場合において、大学は、当該職員の同意を得なければならない。

第5節 休職

(休職)

第14条 職員(試用期間中の者を除く。)が次の各号のいずれかに該当する場合には、休職にすることができる。

- (1) 心身の故障のため、長期の療養を要するとき。
- (2) 刑事事件に関し起訴されたとき。
- (3) 水難、火災その他の災害により、生死不明又は所在不明となったとき。
- (4) 学校、研究所、病院その他の公共的施設において、その職員の職務に関連があると認められる研究、調査等に従事するとき。
- (5) 国又は特定独立行政法人の委託を受け、前号に規定する公共的施設において、その職員の職務に関連があると認められる研究、調査等に従事するとき。
- (6) 職員が研究成果の活用や経営参加等のため、営利企業その他の団体の職を兼ね、又はその営利企業等の事業に協力若しくは関与する必要がある、かつ、大学における職務に従事することができないと認められるとき。
- (7) 日本国が加盟している国際機関及び外国政府の機関等からの要請に基づいて職員を派遣するとき。
- (8) その他休職にすることが適当と認められるとき。

第15条 前条第1号及び第3号から第8号までに規定する事由による休職の期間は、原則として3年を超えない範囲内とする。この休職の期間が3年に満たない場合においては、休職にした日から引き続き3年を超えない範囲内において、これを更新することができる。

2 前条第2号の事由による休職の期間は、原則としてその事件が裁判所に係属する間とする。

第15条の2 前2条に定めるもののほか、休職に関し必要な事項は、任免規則又は広島大学職員の国際機関等への派遣に関する規則(平成16年4月1日規則第85号)で定める。

(復職)

第16条 休職中に休職事由が消滅した職員は、速やかに復職させるものとする。ただし、当該職員が離職し、又は他の事由により休職にされた場合は、この限りでない。

2 休職の期間が満了した職員(第14条第1号の事由による休職者で、なお心身の故障が治ゆせず就業が困難なものを除く。)は、復職するものとする。

(休職中の者の身分等)

第17条 休職中の職員は、職員としての身分を保有するが、職務に従事しない。

2 休職中の職員は、休職にされたときの職位又は休職中に異動した職位を保有するものとする。

3 前項の規定は、当該職位を他の職員をもって補充することを妨げるものではない。

第6節 退職

(定年)

第18条 職員の定年は、満60歳とする。ただし、教員(教頭、教諭、養護教諭及び栄養教諭を除く。以下この条において同じ。)の定年は、満65歳とする。

2 前項の規定にかかわらず、教員は、自らの意思により、満63歳又は満64歳を定年として選択し、届け出ることができるものとする。

3 職員は、定年に達した日以後における最初の3月31日(以下「定年退職日」という。)に退職するものとする。

(定年の特例)

第19条 前条の規定にかかわらず、大学が特に必要と認める場合には、その職員(前条第2項の適用を受ける者を除く。以下この条において同じ。)に係る定年退職日の翌日から起算して3年を超えない範囲内で期限を定め、その職員を引き続いて勤務させることができる。

2 大学は、前項の期限が到来する場合において、特に必要と認める場合には、2年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、その期限は、その職員に係る定年退職日の翌日から起算して5年を超えることはできない。

(定年後の再雇用)

第20条 第18条の規定による退職者(同条第1項ただし書の適用を受ける職員を除く。)で、引き続き再雇用を希望するものについては、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律(昭和46年法律第68号)に基づき、継続雇用制度の導入等による高年齢者の安定した雇用の確保の促進等の措置として、1年を超えない範囲内で雇用期間を定め、再雇用することができる。

(退職)

第 21 条 職員は、第 18 条に定めるもののほか、次の各号のいずれかに該当する場合には、退職するものとし、職員としての身分を失う。

- (1) 自己の都合により退職を願い出て大学が承認したとき。
- (2) 退職の申出をした日から起算して 14 日を経過したとき。
- (3) 早期退職制度により退職を届け出て大学が承認したとき。
- (4) 任期又は雇用期間を定めて雇用されている場合、その期間を満了し、再任又は更新されなかったとき。
- (5) 第 14 条第 1 号及び第 3 号から第 7 号までに規定する事由により休職とした者について、その休職の期間が満了したにもかかわらず、なお休職事由が消滅していないとき。
- (6) 大学の役員に就任したとき。
- (7) 大学の要請により第 3 条第 3 号に掲げる規則の適用を受けることとなったとき。
- (8) 死亡したとき。

2 早期退職制度に関し必要な事項は、広島大学職員の早期退職に関する規則(平成 16 年 4 月 1 日規則第 86 号)で定める。

第 7 節 降任, 解雇

(降任)

第 22 条 職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、降任させることがある。

- (1) 勤務実績が不良のとき。
- (2) 心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
- (3) 組織の改廃など、経営上又は業務上やむを得ない事由によるとき。
- (4) 職員が降任を申し出たとき。
- (5) その他前各号に準ずるやむを得ない事由があるとき。

2 降任に関し必要な事項は、任免規則で定める。

(解雇)

第 23 条 職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、解雇することがある。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人となったとき。
- (2) 第 44 条に規定する懲戒事由に該当するとき。
- (3) 勤務実績が著しく不良で、改善又は向上の見込みがなく、他の職務にも転換できないなど、職務を遂行できないとき。
- (4) 心身の故障のため職務の遂行に著しく支障があり、又はこれに堪えないとき。
- (5) 事業の運営上又は天災事変その他これに準ずるやむを得ない事由による事業活動の縮小により、剰員を生じ、かつ他の職務への転換が困難なとき。
- (6) 広島大学のテニユア・トラック制に関する規則(平成 25 年 3 月 26 日規則第 10 号)に基づき雇用され、テニユア・トラック期間に労契法第 18 条の規定に基づき期間の定めのない労働契約への転換の申込みをしたにもかかわらず、テニユア審査の結果、テニユアを付与しなかったとき。
- (7) その他前各号に準ずるやむを得ない事由があるとき。

- 2 前項の規定による解雇を行う場合においては、30日前までにその予告をするか、又は労基法第12条に規定する平均賃金の30日分を支給するものとする。ただし、試用期間中の職員(14日を超えて引き続き雇用された者を除く。)を解雇する場合、所轄労働基準監督署の認定を受けて第45条第1号に定める懲戒解雇をする場合又は職員の責に帰すべき事由に基づいて解雇をする場合は、この限りでない。
- 3 前項本文に定める予告の日数は、平均賃金を支払った日数に応じて短縮することができる。
- 4 前2項の規定による解雇に際し、解雇を予告された職員が、解雇予告日から解雇日まで之間において解雇理由を記載した文書の交付を請求した場合は、大学は遅滞なく解雇理由証明書を交付するものとする。
- 5 解雇に関し必要な事項は、任免規則で定める。

(解雇制限)

第24条 前条第1項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する期間においては、解雇しない。ただし、第1号の場合において療養開始後3年を経過しても負傷又は疾病が治ゆせず労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号。以下「労災法」という。)に基づく傷病補償年金の給付がなされ、労基法第81条の規定により打切補償を支払ったものとみなされる場合又は労基法第19条第2項の規定により所轄労働基準監督署の認定を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 業務上負傷し、又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後30日間
- (2) 分娩予定日から起算して6週間(多胎妊娠の場合にあっては、14週間)以内の期間、
出産の日の翌日から8週間を経過するまでの期間及びその後30日間

第8節 退職者の責務等

(退職後の責務)

第25条 退職し、又は解雇された者は、在職中に知り得た秘密及び個人情報を他に漏らし
てはならない。

- 2 退職し、又は解雇された者が、離職後2年間、離職前5年間の職務と密接な関係がある
営利企業の役員に就く場合は、大学に申し出るものとする。

(借用物品の返還等)

第26条 職員が退職し、又は解雇された場合は、大学から借用している物品を速やかに返
還するとともに、指定された期日までに、業務の引継ぎを完了し、上司にその旨を報告し
なければならない。

(退職証明書の交付)

第27条 労基法第22条に定める証明書の交付の請求があった場合は、これを交付する。

第3章 給与

(給与)

第28条 職員の給与に関し必要な事項は、広島大学職員給与規則(平成16年4月1日規則
第88号)及び広島大学年俸制職員給与規則(平成26年3月26日規則第27号)で定める。

第4章 服務

(誠実勤務義務)

第29条 職員は、法人法に定める国立大学の使命と、その業務の公共性を自覚し、誠実に職務に従事しなければならない。

2 職員は、大学の利益と相反する行為を行ってはならない。

(服務心得)

第30条 職員は、関係法令を遵守し、上司の指揮命令に従ってその職務を遂行しなければならない。

2 職員は、常に能力の開発、能率の向上及び業務の改善を目指し、相互協力の下に業務の正常な運営に努めなければならない。

3 上司は、その指揮命令下にある職員の人格を尊重し、その指導育成に努めるとともに、率先してその職務を遂行しなければならない。

(信用失墜行為等の禁止)

第31条 職員は、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 大学の名誉若しくは信用を失墜し、又は職員全体の名誉を毀損すること。

(2) 大学の秩序及び規律を乱すこと。

(遵守事項)

第32条 職員は、次の事項を守らなければならない。

(1) 職務上知ることのできた秘密及び個人情報等を他に漏らしてはならない。

(2) 法令による証人、鑑定人等となり、職務上の秘密に属する事項を発表するときは、大学の許可を受けなければならない。

(3) 大学の情報資産の安全性及び信頼性を確保し、社会的信用の失墜を防がなければならない。

(4) 常に公私の別を明らかにし、その職務や地位を私的利用のために用いてはならない。

(5) 大学の敷地及び施設内(以下「学内」という。)で、喧騒その他の秩序・風紀を乱す行為をしてはならない。

(6) 学校を代表してなす行為として、特定の政党を支持し、又は反対するための政治教育その他政治的活動を行ってはならない。

(7) 児童、生徒及び学生に対する教育上の地位を利用して選挙運動をしてはならない。

(8) 学内で放送・宣伝・集会、文書画の配布・回覧掲示その他これに準ずる行為を行うときは、あらかじめ大学に届け出なければならない。ただし、学内の秩序・風紀を乱すおそれがある場合には、施設等の使用を認めないことがある。

(9) 大学の許可なく、学内で営利を目的とする金品の貸借をし、又は物品の売買を行ってはならない。

(兼業)

第33条 職員は、大学の許可を受けた場合でなければ、他の業務に従事し、又は自ら営利企業を営んではならない。

2 職員の兼業に関し必要な事項は、広島大学職員兼業規則(平成16年4月1日規則第89号)で定める。

(倫理)

第34条 職員の職務に係る倫理の保持に関し必要な事項は、広島大学職員倫理規則(平成16年4月1日規則第90号)で定める。

(ハラスメントの防止)

第35条 職員は、ハラスメントをいかなる形でも行ってはならない。

2 ハラスメントの防止等に関しては、広島大学におけるハラスメントの防止等に関する規則(平成16年4月1日規則第111号)の定めるところによる。

(知的所有権)

第36条 知的所有権に関しては、広島大学職務発明規則(平成16年4月1日規則第112号)の定めるところによる。

(公益通報)

第36条の2 公益通報に関しては、広島大学における公益通報の取扱いに関する規則(平成18年3月14日規則第20号)の定めるところによる。

第5章 労働時間、休日及び休暇等

(労働時間等)

第37条 職員の労働時間、休日及び休暇等に関し必要な事項は、広島大学職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規則(平成16年4月1日規則第91号)で定める。

(育児休業等)

第38条 子の養育を必要とする職員は、大学に申し出て育児休業又は育児部分休業を取得することができる。

2 育児休業及び育児部分休業に関し必要な事項は、広島大学職員育児休業規則(平成16年4月1日規則第92号)で定める。

(介護休業等)

第39条 傷病のため介護を要する家族がいる職員は、大学に申し出て介護休業又は介護部分休業を取得することができる。

2 介護休業及び介護部分休業に関し必要な事項は、広島大学職員介護休業規則(平成16年4月1日規則第93号)で定める。

(大学院修学休業)

第40条 職員(教授、准教授、講師、助教、助手及び教頭を除く。)は、大学の許可を受けて、自らの資質の向上を図ることを目的として、大学院の課程等に在学しその課程を履修するための休業(以下「大学院修学休業」という。)をすることができる。

2 大学院修学休業に関し必要な事項は、広島大学職員大学院修学休業規則(平成16年4月1日規則第94号)で定める。

(国際貢献活動休業)

第 40 条の 2 職員は、大学の許可を受けて、国際貢献に資することを目的として、外国における奉仕活動に参加するための休業(以下「国際貢献活動休業」という。)をすることができる。

2 国際貢献活動休業に関し必要な事項は、広島大学職員国際貢献活動休業規則(平成 20 年 3 月 28 日規則第 62 号)で定める。

(配偶者同行休業)

第 40 条の 3 職員は、大学の承認を受けて、外国での勤務等の事由により外国に居住又は居所を定めて滞在するその配偶者と当該住所又は居所において生活を共にするための休業(以下「配偶者同行休業」という。)をすることができる。

2 配偶者同行休業に関し必要な事項は、広島大学職員配偶者同行休業規則(平成 30 年 3 月 27 日規則第 42 号)で定める。

(公民権行使の保障)

第 41 条 職員が労働時間中に、選挙権その他公民としての権利を行使し、又は公の職務を遂行するために必要な時間を請求した場合においては、これを保障する。ただし、公民権行使又は公の職務の執行に妨げがないときは、請求された時刻を変更することがある。

2 職員は、国会議員、地方公共団体の長、地方公共団体の議会の議員その他の公職に立候補しようとするときは、あらかじめ、その旨を大学に届け出なければならない。

3 職員は、国務大臣、国会議員、地方公共団体の長、地方公共団体の議会の議員その他の公職に就任しようとするときは、その旨を大学に届け出なければならない。

第 6 章 研修

(研修)

第 42 条 職員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 職員の研修に関し必要な事項は、広島大学職員研修規則(平成 16 年 4 月 1 日規則第 95 号)で定める。

第 7 章 賞罰

(表彰)

第 43 条 大学は、職員が大学の業務に関し、特に功労があつて他の模範とするに足りると認められる場合は、これを表彰する。

2 職員の表彰に関し必要な事項は、広島大学職員表彰規則(平成 16 年 4 月 1 日規則第 96 号)で定める。

(懲戒)

第 44 条 職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、懲戒に処することができる。

(1) 正当な理由なく無断欠勤をしたとき。

(2) 正当な理由なくしばしば遅刻、早退するなど勤務を怠ったとき。

(3) 故意又は重大な過失により大学に損害を与えたとき。

(4) 窃盗、横領、傷害等の刑法犯に該当する行為があつたとき。

(5) 大学の名誉又は信用を著しく傷つけたとき。

- (6) 素行不良で大学の秩序又は風紀を乱したとき。
- (7) 重大な経歴詐称をしたとき。
- (8) その他この規則により遵守すべき事項に違反し、又は前各号に準ずる不都合な行為があったとき。

(懲戒の種類)

第45条 職員の懲戒の種類は、次のとおりとする。

- (1) 懲戒解雇 原則として予告期間を設けずに即時に解雇する。
- (2) 諭旨解雇 退職願を提出するよう勧告し、これに従わない場合は懲戒解雇とする。
- (3) 懲戒休職 3月を超え6月以内を限度として勤務を停止し、職務に従事させず、その間の給与を支給しない。
- (4) 停職 11日以上3月以内を限度として勤務を停止し、職務に従事させず、その間の給与を支給しない。
- (5) 出勤停止 1日以上10日以内を限度として出勤を停止し、職務に従事させず、その間の給与を支給しない。
- (6) 減給 1回の額が労基法第12条に規定する平均賃金の1日分の2分の1を上限とし、その総額が一給与計算期間の給与総額の10分の1を上限として給与から減ずる。
- (7) 戒告 将来を戒める。

(退職し、又は解雇された職員の在職中の非違行為に対する措置)

第45条の2 職員が退職し、又は解雇された後において、その在職中に第44条の規定による懲戒の事由に該当する行為をしたことが判明したときは、当該退職又は解雇の日から1年以内に限り、当該行為について前条各号に定める懲戒に相当する量定を認定することができる。

第45条の3 前3条に定めるもののほか、職員の懲戒等に関し必要な事項は、広島大学職員懲戒規則(平成16年4月1日規則第97号)で定める。

(訓告等)

第46条 第45条に規定する場合のほか、服務を厳正にし、規律を保持するために必要があるときには、文書による訓告又は文書若しくは口頭による厳重注意を行うことができる。

(自宅待機)

第46条の2 大学は、次のいずれにも該当すると判断する場合は、大学による処分の決定又は処分の効力が発生するまでの間、職員に自宅待機を命じることができる。

- (1) 職員の行為が第45条第1号から第4号までの懲戒に該当するとき、又はそのおそれがあるとき。
- (2) 職員が出勤することにより、正常な業務の遂行に支障を来すとき、又は構成員へ与える影響が大きいとき。

(損害賠償)

第47条 職員が故意又は重大な過失により大学に損害を与えた場合は、その損害の全部又は一部を賠償させるものとする。

第8章 安全・衛生

(安全・衛生の確保に関する措置)

第48条 大学は、職員の心身の健康増進及び危険防止のために必要な措置を講じなければならない。

2 職員の安全・衛生管理に関しては、広島大学安全衛生管理規則(平成16年4月1日規則第113号)の定めるところによる。

(協力義務)

第49条 職員は、安全、衛生及び健康の確保について、労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)その他の関係法令のほか、上司の命令に従うとともに、大学が行う安全・衛生に関する措置に協力しなければならない。

第9章 出張

(出張)

第50条 職員は、大学が業務上必要があると認める場合に出張することができる。

2 職員の出張に関し必要な事項は、広島大学旅行規則(平成16年4月1日規則第98号)で定める。

第10章 福利・厚生

(宿舍利用基準)

第51条 職員宿舍に関しては、広島大学職員宿舍規則(平成16年4月1日規則第114号)の定めるところによる。

(構内駐車場利用基準)

第52条 職員の構内駐車場の利用に関しては、広島大学構内駐車場利用規則(平成16年4月1日規則第115号)の定めるところによる。

第11章 災害補償

(災害補償)

第53条 職員が業務上又は通勤途上において、災害(負傷、疾病、障害又は死亡をいう。)を受けた場合の災害補償、被災職員の社会復帰の促進並びに職員及びその遺族の援護を図るために必要な福祉事業に関しては、労基法及び労災法の定めるところによるもののほか、広島大学職員災害補償規則(平成16年4月1日規則第99号)で定める。

第12章 退職手当

(退職手当)

第54条 職員の退職手当に関し必要な事項は、広島大学職員退職手当規則(平成16年4月1日規則第100号)で定める。

第13章 規則の解釈等

(規則の解釈等)

第55条 この規則の解釈又は運用上の疑義が生じた場合には、役員会の議を経て、学長が決定するものとする。

附 則

- 1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 職員のうち用務員の定年については、第 18 条第 1 項本文の規定にかかわらず、当分の間、満 63 歳とする。

附 則(平成 17 年 3 月 31 日規則第 53 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 31 日規則第 49 号)

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規則の施行の日から平成 19 年 3 月 31 日までの間に再雇用する者については、この規則による改正後の広島大学職員就業規則第 3 条及び第 20 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 9 月 28 日規則第 116 号)

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 3 月 22 日規則第 54 号)

- 1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 教務職員の廃止の際現に教務員として在職する者であって、引き続き助教又は助手に配置換えとなったものの定年については、その者が教員でない職員としての定年を希望した場合は、その者を教員でない職員とみなして第 18 条の規定を適用する。

附 則(平成 20 年 3 月 28 日規則第 52 号)

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 3 月 31 日規則第 63 号)

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 3 月 31 日規則第 73 号)

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規則による改正後の広島大学職員就業規則第 18 条第 1 項の規定中「満 65 歳」とあるのは、昭和 24 年 4 月 1 日までに生まれた者にあつては「満 64 歳」と読み替えるものとする。

附 則(平成 23 年 3 月 31 日規則第 22 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 30 日規則第 31 号)

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 3 月 26 日規則第 11 号)

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 9 月 24 日規則第 82 号)

この規則は、平成 25 年 11 月 1 日から施行する。

附 則(平成 26 年 3 月 26 日規則第 15 号)

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 28 条及び第 54 条の改正規定は、平成 26 年 11 月 25 日から施行する。

附 則(平成 26 年 12 月 24 日規則第 102 号)

この規則は、平成 27 年 1 月 1 日から施行する。

附 則(平成 27 年 3 月 24 日規則第 27 号)

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 28 年 3 月 24 日規則第 40 号)

この規則は、平成 28 年 3 月 24 日から施行し、この規則による改正後の広島大学職員就業規則第 54 条の規定は、平成 26 年 11 月 25 日から適用する。

附 則(平成 29 年 9 月 26 日規則第 128 号)

この規則は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 3 月 27 日規則第 26 号)

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 31 年 1 月 24 日規則第 6 号)

- 1 この規則は、平成 32 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規則の施行の日に現に広島大学のテニユア・トラック制に関する規則の一部を改正する規則(平成 31 年 1 月 24 日規則第 10 号)による改正前の広島大学のテニユア・トラック制に関する規則の規定に基づき雇用されているテニユア・トラック教員については、この規則による改正後の広島大学職員就業規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 31 年 3 月 27 日規則第 34 号)

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

人間社会科学研究科(博士課程前期)修了までのスケジュール

学年	4月 入学	10月 入学	学 生	指導教員グループ	プログラム教員会 教授会等
第1年次	4月	10月	オリエンテーション ガイダンス 「研究倫理教育(大学院生 Basic)」受講 「研究題目届」提出 履修計画検討 研究計画立案	履修計画立案助言 指導教員了承 履修計画指導 研究計画指導	教育研究目標周知 「研究題目届」承認
	10月	4月	履修計画検討 「研究計画概要」提出	履修計画指導	「研究計画概要」受理
	11~ 12月	5~ 6月	中間発表 研究計画再考	中間発表指導 研究計画指導	
	2月	7月	「研究計画概要」再提出		「研究計画概要」受理
第2年次	4月	10月	履修計画検討 修士論文執筆計画立案	履修計画指導 論文執筆計画 指導・助言	
	9月	3月	「研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))」受講 「修士論文概要」提出	「研究倫理教育受講 修了証」交付	「修士論文概要」承認
	10月	4月	履修計画検討 修士論文作成	履修計画指導 論文執筆指導	審査委員会編成
	1月	7月	修士論文提出 「修士論文要旨」提出	論文審査	
	2月	8月	修士論文口頭発表会 (公開審査) 最終試験 要件単位修得		審査委員会 合否判定 最終合否判定
	3月	9月	課程修了・学位取得		

博士論文基礎力審査で修了する場合

学年	4月 入学	10月 入学	学 生	リーディングプログラ ム機構運営会議等	プログラム教員会 教授会等
第2年次	10月	4月	「博士論文研究基礎力審査申 請書」の提出		
	12~ 2月	6~ 8月		博士論文研究基礎力審 査	
	2月	8月		合否判定	最終合否判定
	3月	9月	課程修了・学位取得		

人間社会科学研究科(博士課程後期)修了までのスケジュール

学年	4月 入学	10月 入学	学 生	指導教員グループ	プログラム教員会 教授会等
第1年次	4月	10月	オリエンテーション ガイダンス 「研究倫理教育(大学院生 Basic)」受講 「研究題目届」提出	履修計画立案 助言	教育研究目標周知
			履修計画検討 研究計画立案	指導教員了承 履修計画指導 研究計画指導	「研究題目届」承認
	10月 11～ 12月	4月 5～ 6月	履修計画検討 中間発表	履修計画指導 中間発表指導	
	3月	8月	「研究計画概要」提出	研究計画指導	「研究計画概要」受理
第2年次	4月	10月	履修計画検討 研究計画立案	履修計画指導 研究計画指導	
	11～ 12月 3月	5～ 6月 8月	中間発表 「研究倫理教育(大学院生 Advanced(D))」受講 (第3年次の前半までに 終える) 「博士論文概要」提出	中間発表指導 「研究倫理教育 受講修了証」交付 研究計画指導	「博士論文概要」受理
第3年次	10月	4月	「博士論文予備審査願」 提出		「博士論文予備審査願」受理 予備審査委員会編成
	11月	5月	博士論文概要・草稿 提出		
	12月	6月	予備審査会	予備審査 審査結果報告	予備審査可否判定 博士論文受理 審査委員会編成
	1月	7月	博士論文等提出		
	1～ 2月	7～ 8月	論文審査会(公開) 博士論文製本等提出	論文審査 審査結果報告	審査委員会可否判定 最終可否判定
	3月	9月	課程修了・学位取得		

人間社会科学研究科(教職開発専攻)修了までのスケジュール

学 年	4月 入学	学 生	指導教員グループ	プログラム教員会 教授会等
第 1 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス 「研究題目届」提出 「研究倫理教育(大学院生 Basic)」受講	履修計画立案助言 指導教員了承 指導教員編成	指導教員編成承認 (5月)
	9月	履修計画検討：アクションリサーチ・セミナー履修 (第1ターム) 課題研究計画立案：ターム・ペーパーのテーマ設定 ターム・ペーパーの提出	履修計画指導 研究計画指導	
	10月	履修計画検討：アクションリサーチ・セミナー履修 (第2ターム) 課題研究計画立案：ターム・ペーパーのテーマ設定	履修計画指導 研究計画指導	
	3月	ターム・ペーパーの提出		
	4月	履修計画検討：アクションリサーチ・セミナー履修 (第3ターム) 課題研究計画立案：ターム・ペーパーのテーマ設定	履修計画指導 研究計画指導	
第 2 年 次	9月	ターム・ペーパーの提出		審査委員会編成 審査委員会 合否判定 修了判定
	10月	履修計画検討：アクションリサーチ・セミナー履修 (第4ターム) 「課題研究題目届」提出 課題研究作成 「研究倫理教育(大学院生 Advanced(M))」受講	履修計画指導 指導教員了承 課題研究執筆指導 「研究倫理教育受講 修了証」交付	
	1月	課題研究報告書の提出	課題研究報告の指導	
	2月	最終試験 要件単位修得		
	3月	課程修了・学位取得		

人間社会科学研究科(実務法学専攻)修了までのスケジュール

【法学未修者】

学年	4月 入学	学 生	指導教員グループ	プログラム教員会 教授会等
第 1 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス 履修計画検討 「研究倫理教育(大学院生 Basic)」受講	入学時面談(履修計 画指導)	成績判定 成績判定, 進級判定
	8月		前期終了時面談(履 修計画指導)	
	2月		後期終了時面談(履 修計画指導)	
第 2 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス	前期終了時面談(履 修計画指導)	成績判定 成績判定, 進級判定
	8月		前期終了時面談(履 修計画指導)	
	2月		後期終了時面談(履 修計画指導)	
第 3 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス	前期終了時面談(履 修計画指導)	成績判定 成績判定
	8月		前期終了時面談(履 修計画指導)	
	2月		後期終了時面談(履 修計画指導)	
	3月	課程修了・学位取得	修了判定	

【法学既修者】

学年	4月 入学	学 生	指導教員グループ	プログラム教員会 教授会等
第 1 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス 履修計画検討 「研究倫理教育(大学院生 Basic)」受講	入学時面談(履修計 画指導)	成績判定 成績判定, 進級判定
	8月		前期終了時面談(履 修計画指導)	
	2月		後期終了時面談(履 修計画指導)	
第 2 年 次	4月	オリエンテーション ガイダンス	前期終了時面談(履 修計画指導)	成績判定 成績判定
	8月		前期終了時面談(履 修計画指導)	
	2月		後期終了時面談(履 修計画指導)	
	3月	課程修了・学位取得	修了判定	

人文学プログラム(学位:修士(文学))

(養成する人材:日本文学に関する専門知識を活用する教員)

【研究テーマ:江戸時代の古典文学享受に関する研究】

	大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
				自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T データリテラシー	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	日本古典文学注釈研究A 日本古典文学注釈研究C 日本古典文学注釈研究E	特別研究	
		2T ダイバーシティの理解	人間社会科学のための科学史				
	後期	3T			日本古典文学注釈研究B 日本古典文学注釈研究D 日本古典文学注釈研究F		
		4T					
2 年次	前期	1T			日本古典文学解読研究E		特別研究
		2T					
	後期	3T			日本古典文学解読研究F		
		4T					
修得単位数	2	4	2	16	2	4	
要修得単位数	2	4	2	12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

人文学プログラム(学位:修士(文学))

(養成する人材:中国思想文化を社会に発信できる人材)

【研究テーマ:中国思想文化】

	大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
				自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T データリテラシー	人間社会科学特別講義		中国思想学專題講義 中国思想文献研究A 中国思想文化研究法A	特別研究	
		2T Hiroshimaから世界平和を考える	人間社会科学のための科学史	人文社会科学と社会			
	後期	3T			中国思想文献研究B 中国思想文化研究法B		
		4T					
2 年次	前期	1T			中国思想文献研究C 中国思想文化研究法C		特別研究
		2T					
	後期	3T			中国思想文化研究法D		
		4T					
修得単位数	2	4	2	16	2	4	
要修得単位数	2	4	2	12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

心理学プログラム(学位:修士(心理学))

(養成する人材:心理学の高度専門的職業人, 研究者)
【研究テーマ:人間の行動とその心理過程に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	Academic writing in psychology A 心理学基礎演習I	特別研究	
		2T	ダイバーシティの理解			心理学研究法基礎演習A 心理学基礎演習II		適応行動論 (人間総合科学プログラム)
	後期	3T				Academic writing in psychology B		心理学特講B
		4T				心理学研究法基礎演習B		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト		Advanced academic writing in psychology A	特別研究	
		2T				心理学研究法応用演習A		心理学特講C
	後期	3T				Advanced academic writing in psychology B		
		4T				心理学研究法応用演習B		
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

心理学プログラム(学位:修士(心理学))

(養成する人材:心理学の高度専門的職業人, 研究者)
【研究テーマ:人間の行動とその心理過程に関する臨床心理学的研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	臨床心理学特講I	特別研究	
		2T	ダイバーシティの理解	人間社会科学のための科学史		心理的アセスメントに関する理論と実践(臨床心理査定演習I)		適応行動論 (人間総合科学プログラム)
	後期	3T				家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		心理支援に関する理論と実践(臨床心理面接特講I)
		4T				臨床心理学特講II 心の健康教育に関する理論と実践		
2 年次	前期	1T				心理療法特講	特別研究	
		2T						
	後期	3T						臨床心理面接特講II
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

法学・政治学プログラム(学位:修士(法学))

(養成する人材: 法学等を基盤とした問題分析の基礎的方法論を習得し、社会における諸問題に実践的な解決策を提案できる人材)

【研究テーマ: 非訟手続の改革における手続保障】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	契約法 物件管理法		特別研究
		2T	人文社会系キャリアマネジメント	人間社会科学のための科学史		民事訴訟の理論と実務		
	後期	3T				民事訴訟の理論と実務 演習	公共政策論 (経済学プログラム)	
		4T				物件管理法演習		
2 年次	前期	1T						
		2T				裁判外紛争処理論		
	後期	3T				不動産法 裁判外紛争処理論 演習		
		4T						
修得単位数		3	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計31単位

法学・政治学プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材: 社会分析の基礎的方法論を習得し、社会問題に実践的な解決策を提案できる人材)

【研究テーマ: 日本のネットポピュリズム: ビッグデータによる分析】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義 異分野協働プロジェクト	社会構造分析論	国際政治学	特別研究	
		2T		人文社会科学と社会	政策過程論			
	後期	3T	人文社会系キャリアマネジメント			日本政治論		公共政策論 (経済学プログラム)
		4T						
2 年次	前期	1T			政治倫理論			
		2T				憲法理論		
	後期	3T				憲法理論演習		
		4T						国際秩序構築論
修得単位数		3	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計31単位

経済学プログラム(学位:修士(経済学))

(養成する人材:経済理論の基礎知識と応用能力を持つ人材)
【研究テーマ:金融政策の効果の計量分析】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			研究指導
					自プログラム	他プログラム		
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	経済統計分析 計量経済学I	経済学プログラム特別演習I ミクロ経済学	特別研究
		2T	Hiroshimaから世界平和を考える	人間社会科学のための科学史		マクロ経済学		
	後期	3T					経済学プログラム特別演習II 経済時系列分析	
		4T				マクロ金融分析		
2 年次	前期	1T					政策過程論 (法学・政治学プログラム)	
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	22			
					16			2
					12~			2~
								4

修得単位数合計30単位

経済学プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材:経済理論の基礎知識と応用能力を持つ人材)
【研究テーマ:財政・金融政策が経済成長に及ぼす効果】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			研究指導
					自プログラム	他プログラム		
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	財政学 経済統計分析	経済学プログラム特別演習I ミクロ経済学	特別研究
		2T	Hiroshimaから世界平和を考える	人間社会科学のための科学史		地方財政論 マクロ経済学		
	後期	3T					経済学プログラム特別演習II	
		4T				マクロ金融分析		
2 年次	前期	1T					日本法概説1 (法学・政治学プログラム)	
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	22			
					16			2
					12~			2~
								4

修得単位数合計30単位

マネジメントプログラム(学位:修士(マネジメント))

(養成する人材:情報化・グローバル化に対応でき、かつ様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力を有し、独立心あるいは起業心あふれる人材)

【研究テーマ:企業におけるイノベーションについての経営分析】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	リサーチ・リテラシー 経営戦略論 マーケティング論 人的資源管理論	特別研究
		2T	データリテラシー	人間社会科学のための科学史			
	後期	3T				イノベーション・マネジメント論 国際マーケティング戦略論	
		4T				会計政策論 アジア企業論	
2 年次	前期	1T				理論ファイナンス (経済学プログラム)	
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		2	4	2	22		
					16	2	4
要修得単位数		2	4	2	22		
					12~	2~	4

修得単位数合計30単位

マネジメントプログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材:情報化・グローバル化に対応でき、かつ様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力を有し、独立心あるいは起業心あふれる人材)

【研究テーマ:日本語表現における中国文化の影響に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	リサーチ・リテラシー 国際関係論 異文化コミュニケーション論	特別研究
		2T	データリテラシー	人間社会科学のための科学史			
	後期	3T				社会心理学特論 地域協力論 アジアビジネス事情	
		4T					
2 年次	前期	1T				地域分析 マネジメント特講(サステイナビリティ・マネジメント論) 理論ファイナンス (経済学プログラム)	
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		2	4	2	22		
					16	2	4
要修得単位数		2	4	2	22		
					12~	2~	4

修得単位数合計30単位

国際平和共生プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材: 平和な社会の形成・持続のための政策形成、研究等に有用な人材)

【研究テーマ: The Role of the United Nations in the Promotion of Human Rights in the Age of Mass Surveillance】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	人間社会科学特別講義		International Politics I International Security I Peace and Coexistence A	国際機構法 (法学・政治学プログラム)	特別研究
		2T	Japanese Experience of Social Development— Economy, Infrastructure, and Peace	人間社会科学のための科学史	International Politics II International Security II		
	後期	3T	人文社会系キャリアマネジメント		リサーチメソッド	Peace and Coexistence B International Ethics I Contemporary Anthropology I	
		4T					
2 年次	前期	1T			Law and Human Rights		
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		3	4	2	22		
要修得単位数		2	4	2	16	2	4
					22		
					12~	2~	4

修得単位数合計31単位

国際平和共生プログラム(学位:修士(国際協力学))

(養成する人材: 平和構築等の実務で国際的に活躍する人材)

【研究テーマ: The Role of Women in Peacebuilding of Afghanistan】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	人間社会科学特別講義		Peace and Conflict Research I Peace and Coexistence A		特別研究	
		2T		人文社会科学と社会	Peace and Conflict Research II			
	後期	3T	人文社会系キャリアマネジメント			Peacebuilding I Conflict Resolution I Peace and Coexistence B		グローバルガバナンス論 (国際経済開発プログラム)
		4T	Japanese Experience of Human Development— Culture, Education, and Health			Conflict Resolution II		
2 年次	前期	1T	異分野協働プロジェクト					
		2T						
	後期	3T				Identity and Coexistence		
		4T						Development and Culture
修得単位数		3	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計31単位

国際経済開発プログラム(学位:修士(経済学))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する経済学研究を実施することができる人材)
【研究テーマ:気候変動に対応する農業保険商品開発における官民協力に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	リサーチメソッド	開発計量経済学I	特別研究
		2T	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	未来創造思考(基礎)		開発計量経済学II 都市経済学 国際金融論	
	後期	3T				調査方法論基礎 開発マイクロ経済学I 農村開発論	
		4T				開発マイクロ経済学II	
2 年次	前期	1T				国際公共政策 (経済学プログラム)	
		2T		国際標準化論			
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		2	4	2	22		
要修得単位数		2	4	2	16	2	4
					22		
					12~	2~	4

修得単位数合計30単位

国際経済開発プログラム(学位:修士(経営学))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する経営学研究を実施することができる人材)
【研究テーマ:社会的な責任のある企業経営と途上国の貧困削減の関係に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	リサーチメソッド	開発計量経済学I 経営戦略論	特別研究	
		2T	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	未来創造思考(基礎)		開発計量経済学II		
	後期	3T				調査方法論基礎 開発マイクロ経済学I 経営組織論		
		4T				開発マイクロ経済学II 人的資源開発論		
2 年次	前期	1T				組織行動論 (マネジメントプログラム)		
		2T		国際標準化論				
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

国際経済開発プログラム(学位:修士(国際協力学))

(養成する人材:国際協力に関する学問的アプローチを広く理解し、それらを融合した国際協力を通じた望ましいグローバル開発の実現に資する学術研究を実施することができる人材)

【研究テーマ:都市間連携による国際協力モデルの有効性評価】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	リサーチメソッド	開発計量経済学I 国際協力論		特別研究
		2T	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace			開発計量経済学II		
	後期	3T				調査方法論基礎 開発ミクロ経済学I グローバルガバナンス論 環境政策論		
		4T				開発ミクロ経済学II		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト			Law and Human Rights (国際平和共生プログラム)	
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

国際経済開発プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する学際研究を実施することができる人材)

【研究テーマ:コミュニティ主導開発モデルの有効性に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	リサーチメソッド	開発計量経済学I 技術経営論		特別研究
		2T	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace			開発計量経済学II 労働政策論	政策過程論 (法学・政治学プログラム)	
	後期	3T				調査方法論基礎 開発ミクロ経済学I		
		4T				開発ミクロ経済学II 都市政策論		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト				
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

人間総合科学プログラム 心身と言語研究プロジェクト（学位：修士(学術)）

（履修モデル：優れたコミュニケーションやその学習方法を心理、生理、行動という多様な側面から提案できる人材）

【プロジェクト名：心身と言語研究プロジェクト】

【研究テーマ：優れたコミュニケーションにおける心理、生理、行動反応】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	専門科目			特別研究	
					自プログラム		他プログラム		自プログラム (研究指導科目)
					自プロジェクト (研究指導科目を除く)	他プロジェクト			
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義	人文社会科学のための研究法と倫理	認知科学論		臨床心理学特講Ⅰ (心理学プログラム)	
		2T				実験言語学 総合科学系演習			
	後期	3T				社会行動論	社会人類学 (文明と環境研究プロジェクト)		
		4T				運動精神科学			
2 年次	前期	1T	データリテラシー	異分野協働プロジェクト			社会学研究法 (文明と環境研究プロジェクト)		
		2T				適応行動論			
	後期	3T							
		4T							
修得単位数		2	4	2	12	4	2	4	
最低要修得単位数		2	4	2	8～	4～	2～	4	

修得単位数合計30単位

人間総合科学プログラム 地域と文化研究プロジェクト（学位：修士(学術)）

（履修モデル：広域地域の歴史的交流と文化形成の深い理解に基づいて国際社会で活躍できるジェネラリスト。）

【プロジェクト名：地域と文化研究プロジェクト】

【研究テーマ：日中交流における仏教文化の伝播と受容に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	専門科目			特別研究	
					自プログラム		他プログラム		自プログラム (研究指導科目)
					自プロジェクト	他プロジェクト			
1 年次	前期	1T		人間社会科学特別講義		社会学研究法 (文明と環境研究プロジェクト)			
		2T	ダイバーシティの理解		人文社会科学と社会	日本地域研究 総合科学系演習	福祉社会論 (文明と環境研究プロジェクト)		
	後期	3T	人文社会系キャリアマネジメント			アジア文化論(現代文化)	社会構造論 (文明と環境研究プロジェクト)		仏教学研究 (人文学プログラム)
		4T				アジア文化論(表象文化)			
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト		アジア地域研究			
		2T							
	後期	3T							
		4T							
修得単位数		3	4	2	10	6	2	4	
最低要修得単位数		2	4	2	8～	4～	2～	4	

修得単位数合計31単位

人間総合科学プログラム 文明と環境研究プロジェクト（学位：修士(学術)）

（履修モデル：持続可能な福祉社会づくりの手法と人間の行動に精通したソーシャルワーカー）

【プロジェクト名：文明と環境研究プロジェクト】

【研究テーマ：インクルーシブな社会づくりのためのソーシャルワークの研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	専門科目			自プログラム (研究指導科目)	
					自プログラム		他プログラム		
					自プロジェクト (研究指導科目を除く)	他プロジェクト			
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義				特別研究	
		2T	ダイバーシティの理解		人文社会科学と社会	福祉社会論 総合科学系演習			医療と人権 (法学・政治学プログラム)
	後期	3T				宗教学	社会行動論 (心理と言語研究プロジェクト)		
		4T				産業システム論	実践倫理学 (地域と文化研究プロジェクト)		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト				特別研究	
		2T				持続可能地域論			
	後期	3T					マイノリティ文化思想 (地域と文化研究プロジェクト)		
		4T							
修得単位数		2	4	2	10	6	2	4	
最低要修得単位数		2	4	2	8～	4～	2～	4	

修得単位数合計30単位

【人文社会科学専攻 博士課程後期】

人文学プログラム(学位:博士(文学))

(養成する人材:日本文学の研究者として十分な研究力を有する人材)

【研究テーマ:中国思想文化学】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究
		2T	人間社会科学講究	
	後期	3T		
		4T	普遍的平和を目指して	
2 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
3 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
修得単位数		2	2	6
要修得単位数		2	2	6

修得単位数合計10単位

心理学プログラム(学位:博士(心理学))

(養成する人材:国内外において先端的な研究を切り開く研究能力と倫理観を有する心理学の高度専門的職業人および研究者, 高度な臨床実践を行う研究者, 実証的な研究力を身につけた臨床心理学実践家)

【研究テーマ:人間の行動とその心理過程に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T		特別研究
		2T	人間社会科学講究	
	後期	3T		
		4T	普遍的平和を目指して データサイエンス	
2 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
3 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
修得単位数		3	2	6
要修得単位数		2	2	6

修得単位数合計11単位

法学・政治学プログラム(学位:博士(法学))

(養成する人材:法学等を基盤とした問題分析の高度な方法論を習得し、事例や課題等についての新たな発見・解明、新たな概念設定や理論的視点の提供ができる人材)

【研究テーマ:当事者権論を軸とした訴訟代理人が有する和解権限に関する規律の再構築】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T			特別研究
		2T	高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント	人間社会科学講究	
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して		
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

法学・政治学プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:社会分析の方法論を習得し、社会問題に高度な解決策を提案できる人材)

【研究テーマ:戦後日本の安全保障政策における抑止概念の形成と変遷】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T			特別研究
		2T	高度イノベーション人材のための キャリアマネジメント	人間社会科学講究	
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して		
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

経済学プログラム(学位:博士(経済学))

(養成する人材:経済理論の先端知識と応用能力を持つ人材)

【研究テーマ:金融政策の効果の計量分析】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究	
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー		人間社会科学講究
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

経済学プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:経済理論の先端知識と応用能力を持つ人材)

【研究テーマ:財政・金融政策が経済成長に及ぼす効果】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究	
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー		人間社会科学講究
	後期	3T			
		4T			
年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

マネジメントプログラム(学位:博士(マネジメント))

(養成する人材:情報化・グローバル化に対応でき,かつ様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力を有し,理論と実践の融合を図れる研究者)

【研究テーマ:企業におけるイノベーションについての経営分析】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	事業創造概論	特別研究	
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー		人間社会科学講究
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

マネジメントプログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:情報化・グローバル化に対応でき,かつ様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力を有し,理論と実践の融合を図れる研究者)

【研究テーマ:日本語表現における中国文化の影響に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	事業創造概論	特別研究	
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー		人間社会科学講究
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際平和共生プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材: 平和な社会の形成・持続に精通し政策形成、研究等において活躍する人材)

【研究テーマ: Institutionalization of Conflict Prevention in Africa: Building a Convergence of Institutional Actors, Methods and Processes】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究	
		2T	SDGsの観点から見た地域開発セミナー		人間社会科学講究
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際平和共生プログラム(学位:博士(国際協力学))

(養成する人材: 平和構築等の実務において責任ある立場で国際的に活躍する人材)

【研究テーマ: Rights-based Approach to Development and Peace: Overcoming Key Barriers Impeding Peace and Development in Burma/Myanmar】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究	
		2T	SDGsの観点から見た地域開発セミナー		
	後期	3T			
		4T			プロジェクト研究
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際経済開発プログラム(学位:博士(経済学))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する先端的な経済学研究を実施することができる人材)

【研究テーマ:気候変動に対応する農業保険商品開発における官民協力に関する先端的研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して	プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際経済開発プログラム(学位:博士(経営学))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する先端的経営学研究を実施することができる人材)

【研究テーマ:社会的な責任のある企業経営と途上国の貧困削減の関係に関する先端的研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して	プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際経済開発プログラム(学位:博士(国際協力学))

(養成する人材:国際協力に関する学問的アプローチを広く理解し、それらを融合した国際協力を通じた望ましいグローバル開発の実現に資する学術研究を実施することができる高度な人材)

【研究テーマ:都市間高度連携による国際協力モデルの有効性評価】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T			特別研究
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー	人間社会科学講究	
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント		
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際経済開発プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:望ましいグローバル開発の実現に資する先端的学際研究を実施することができる人材)

【研究テーマ:コミュニティ主導開発モデルの有効性に関する先端的の研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー	人間社会科学講究	
	後期	3T			
		4T			
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

人間総合科学プログラム(学位： 博士(学術))

(履修モデル：優れたコミュニケーションやその学習方法を心理、生理、行動という多様な側面から高度な提案ができる人材)

【 研究テーマ：卓越したコミュニケーションにおける心理、生理、行動反応】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T		特別研究
		2T	スペシャリスト型SDGsアイデア マイニング学生セミナー パターン認識と機械学習	
	後期	3T		
		4T	プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
3 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
修得単位数		3	2	6
要修得単位数		2	2	6

修得単位数合計11単位

【教育科学専攻 博士課程前期】

教師教育デザイン学プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材:インクルーシブで協働的な学習空間をデザインできる知識と能力,及び次世代の革新的な教育課程,教材,指導・評価の理論と方法をデザインできる知識と能力を有する人材)

【研究テーマ:協働的な学びの空間を支えるコミュニケーション環境の構築】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	人間社会科学特別講義	教育学のための研究法と倫理	創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽) 表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)		音楽教育学特別研究A
		2T	人文社会系キャリアマネジメント	人間社会科学のための科学史	指導・評価法デザイン基礎研究 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	教育哲学特講Ⅰ (教育学プログラム) 教育哲学特講Ⅱ (教育学プログラム)	
	後期	3T			創造性と学習材デザイン発展研究(音楽) 表現と学習材デザイン発展研究(音楽)		
		4T	Hiroshimaから世界平和を考える		指導・評価法デザイン発展研究 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(音楽)		
2 年次	前期	1T					
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		3	4	2	22		
要修得単位数		2	4	2	16	2	4
					12~	2~	4

修得単位数合計31単位

教師教育デザイン学プログラム(学位:修士(教育学))

(養成する人材:インクルーシブで協働的な学習空間をデザインできる知識と能力,及び次世代の革新的な教育課程,教材,指導・評価の理論と方法をデザインできる知識と能力を有する人材)

【研究テーマ:消極的な学習者のエンパワメントに資する評価法の開発】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育学のための研究法と倫理	学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	国語文化教育学特別研究B	
		2T		人間社会科学のための科学史		指導・評価法デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン基礎研究		教育方法学特講Ⅰ (教育学プログラム) 教育方法学特講Ⅱ (教育学プログラム)
	後期	3T				学力・コンピテンシーデザイン発展研究 表現と学習材デザイン発展研究(国語)		
		4T	Hiroshimaから世界平和を考える			指導・評価法デザイン発展研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究		
2 年次	前期	1T						
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

教師教育デザイン学プログラム(学位:修士(教育心理学))

(養成する人材:子どもの学びを支えるための心理教育的援助サービスをデザインすることのできる専門職(学校心理士)としての人材)

【研究テーマ:子どもの自己肯定感を高めるための心理教育的援助方法の開発】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育科学のための研究法と倫理	教育支援者専門知デザイン基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン基礎研究		学習開発学特別研究
		2T		人間社会科学のための科学史		心理教育的アセスメント演習		
	後期	3T				教育支援者専門知デザイン発展研究 学校臨床心理学	言語教育心理学特講 (日本語教育学プログラム)	
		4T	Hiroshimaから世界平和を考える			学校心理学 学校カウンセリング論 演習 知識構成論		
2 年次	前期	1T						
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

教育学プログラム(学位:修士(教育学))

(養成する人材:将来、教育学研究者となることを目指して、教育に関する高度な識見と総合的な判断力を有する人材)

【研究テーマ:19世紀末イギリスにおける虐待児の処遇と教育に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目		
					自プログラム	他プログラム	研究指導
1 年次	前期	1T	SDGsへの学問的アプローチA	人間社会科学特別講義	西洋教育史特講 I 日本東洋教育史特講 I 西洋教育史特講 II 日本東洋教育史特講 II	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究a (教師教育デザイン学プログラム)	特別研究
		2T		教育科学と社会	教育調査統計学演習	人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b (教師教育デザイン学プログラム)	
	後期	3T			西洋教育史演習 I 西洋教育史演習 II		
		4T	ストレスマネジメント		幼児教育学特講 I 幼児教育学特講 II 教育学フィールドワーク演習		
2 年次	前期	1T			高等教育基礎演習 I (実践研究)		
		2T		人間社会科学のための科学史			
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		3	4	2	22		
要修得単位数		2	4	2	14	4	4
					22		
					12~	2~	4

修得単位数合計31単位

日本語教育学プログラム(学位:修士(教育学))

(履修モデル: 国内外の日本語教育の現場で先導的な役割を担うことができる実践的研究者)

【研究テーマ: 中級日本語学習者の口頭運用能力の向上に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻科共通	専門科目			
					自プログラム科目	他プログラム科目	研究指導科目	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育科学のための研究法と倫理	日本語構造論特講	日本語教育研究方法論	特別研究
		2T	ダイバーシティの理解			言語教育心理学演習		
	後期	3T				日本語習得論特講 言語教育心理学特講	日本語教育学研究プロジェクト	
		4T				日本語習得論演習 日本語教育評価法演習		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト				
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

日本語教育学プログラム(学位:修士(学術))

(履修モデル: 日本語教育の基礎としての日本語・日本文化研究を推進する研究者)

【研究テーマ: 多文化社会における異文化受容に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻科共通	専門科目		
					自プログラム科目	他プログラム科目	研究指導科目
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	日本語構造論特講 異文化間教育学特講	日本語教育研究方法論	特別研究
		2T		教育科学と社会	文化社会学特講		
	後期	3T			日本近代文学特講	日本語教育学研究プロジェクト	
		4T	Hiroshimaから世界平和を 考える		文化社会学演習 日本近代文学演習		
2 年次	前期	1T		異分野協働プロジェクト			
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		2	4	2	22		
要修得単位数		2	4	2	16	2	4
					22		
					12~	2~	4

修得単位数合計30単位

国際教育開発プログラム(学位:修士(教育学))

(養成する人材:教育学的アプローチにより、持続可能な国際社会の形成に貢献できるグローバル人材)
【研究テーマ:カンボジア国における科学的プロセススキルの開発研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育協力実践基礎論 I 科学教育開発基礎論 基礎教育開発論		特別研究	
		2T		人間社会科学のための科学史	教育協力実践基礎論 II 教科教育授業論 教育人材開発論 理科教育開発論			
	後期	3T			日本の教育開発経験			
		4T	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health			国際教育協力実践研究		
2 年次	前期	1T				Development of Higher Education (教育学プログラム)		
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
					16	2	4	
要修得単位数		2	4	2	22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

国際教育開発プログラム(学位:修士(国際協力学))

(養成する人材:教育学を中心として学際的・国際協力実践的アプローチにより、持続可能な国際社会の形成に貢献できるグローバル人材)

【研究テーマ:ザンビア国におけるSTEM教育政策に関する実践的研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育協力実践基礎論 I 国際教育協力論 基礎教育開発論		特別研究	
		2T	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	人間社会科学のための科学史	教育協力実践基礎論 II 教育人材開発論			
	後期	3T			日本の教育開発経験	教育協力事業評価論 地域カリキュラム開発論		
		4T				国際教育協力実践研究		
2 年次	前期	1T				Development of Higher Education (教育学プログラム)		
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
					16	2	4	
要修得単位数		2	4	2	22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

国際教育開発プログラム(学位:修士(学術))

(養成する人材:教育学を中心として学際的アプローチにより、持続可能な国際社会の形成に貢献できるグローバル人材)

【研究テーマ:ザンビア国における教室文化規範に関する研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	専攻共通科目	プログラム専門科目			
					自プログラム	他プログラム	研究指導	
1 年 次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	平和社会のための教育 教育協力実践基礎論 I		特別研究	
		2T		人間社会科学のための科学史	教育人材開発論 インクルーシブ教育論 教科教育授業論 教育協力実践基礎論 II			
	後期	3T			日本の教育開発経験	地域カリキュラム開発論		
		4T	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health			グローバルシティズンシップ教育論		
2 年 次	前期	1T				Development of Higher Education (教育学プログラム)		
		2T						
	後期	3T						
		4T						
修得単位数		2	4	2	22			
要修得単位数		2	4	2	16	2	4	
					22			
					12~	2~	4	

修得単位数合計30単位

教師教育デザイン学プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:大学の教職課程プログラム, 公立校・附属校の実習指導, 学校現場における授業研究, 教育センターの研修プログラム等において, 次世代の革新的で先導的な教員養成・教員研修の課程と方法をデザインできる資質・能力や実際に教師を指導し, 専門的職能をデザインできる資質・能力を有する人材)

【研究テーマ:ダイバーシティに資するコミュニケーション論研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T			特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して データサイエンス		
2 年次	前期	1T		人間社会科学講究	
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		3	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計11単位

教師教育デザイン学プログラム(学位:博士(教育学))

(養成する人材:大学の教職課程プログラム, 公立校・附属校の実習指導, 学校現場における授業研究, 教育センターの研修プログラム等において, 次世代の革新的で先導的な教員養成・教員研修の課程と方法をデザインできる資質・能力や実際に教師を指導し, 専門的職能をデザインできる資質・能力を有する人材)

【研究テーマ:「ユニバーサルマインド育成のための新人教員研修プログラムの開発」】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して		
2 年次	前期	1T		人間社会科学講究	
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

教師教育デザイン学プログラム(学位:博士(教育心理学))

(養成する人材:大学の教職課程プログラム、公立校・附属校の実習指導、学校現場における授業研究、教育センターの研修プログラム等において、次世代の革新的で先導的な教員養成・教員研修の課程と方法をデザインできる資質・能力や実際に教師を指導し、専門的職能をデザインできる資質・能力を有する人材)

【研究テーマ:心理教育的アセスメントの演習を軸にした現職教員研修プログラムの開発】

		大学院共通科目		研究科共通科目		プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T				特別研究	
		2T					
	後期	3T					
		4T	普遍的平和を目指して データサイエンス				
2 年次	前期	1T					
		2T		人間社会科学講究			
	後期	3T					
		4T					
3 年次	前期	1T					
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		3		2		6	
要修得単位数		2		2		6	

修得単位数合計11単位

教育学プログラム(学位:博士(教育学))

(養成する人材:教育に関する総合的な学識に裏打ちされた高度な研究能力を有し、教育能力をもつとともにその能力開発を推進できる人材)

【研究テーマ:東ドイツ教授学の歴史的評価に関する研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目		プログラム専門科目	
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法			特別研究	
		2T					
	後期	3T					
		4T	普遍的平和を目指して				
2 年次	前期	1T					
		2T					
	後期	3T					
		4T		プロジェクト研究			
3 年次	前期	1T					
		2T					
	後期	3T					
		4T					
修得単位数		2		2		6	
要修得単位数		2		2		6	

修得単位数合計10単位

日本語教育学プログラム(学位:博士(教育学))

(履修モデル:国内外の日本語教育研究を推進・発展させることができる高度専門職人材)

【研究テーマ:日本語学習者の聴解過程における認知システムとしての作動記憶の役割】

		大学院共通科目		研究科共通科目	研究指導科目
1 年次	前期	1T	スペシャリスト型SDGsアイデアマイ ニング学生セミナー		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T		プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T	長期インターンシップ		
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		3	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計11単位

日本語教育学プログラム(学位:博士(学術))

(履修モデル:グローバルな観点から日本語・日本文化研究を推進・発展させることができる研究者)

【研究テーマ:日本語と韓国語のアスペクト体系に関する対照研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	研究指導科目
1 年次	前期	1T			特別研究
		2T		人間社会科学講究	
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して		
2 年次	前期	1T	長期インターンシップ		
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		3	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計11単位

国際教育開発プログラム(学位:博士(教育学))

(養成する人材: 教育的アプローチにより、理論と実践を融合し、持続可能な国際社会の形成に貢献できる高度グローバル人材)

【研究テーマ: インドネシア国における科学的プロセススキルに関する先端的カリキュラム研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して	プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際教育開発プログラム(学位:博士(国際協力学))

(養成する人材: 教育学を中心として学際的・国際協力実践的アプローチにより、理論と実践を融合し、持続可能な国際社会の形成に貢献できる高度グローバル人材)

【研究テーマ: 国際的動向を踏まえたルワンダ国におけるSTEM教育政策課題に関する先端的実践的研究】

		大学院共通科目		研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法		特別研究
		2T			
	後期	3T			
		4T	普遍的平和を目指して	プロジェクト研究	
2 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
3 年次	前期	1T			
		2T			
	後期	3T			
		4T			
修得単位数		2	2	6	
要修得単位数		2	2	6	

修得単位数合計10単位

国際教育開発プログラム(学位:博士(学術))

(養成する人材:教育学を中心として学際的アプローチにより、理論と実践を融合し、持続可能な国際社会の形成に貢献できる高度グローバル人材)

【研究テーマ:ラオス国における授業研究と教室文化規範の相互作用に関する先端的研究】

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T	リーダーシップ手法	特別研究
		2T		
	後期	3T		
		4T	普遍的平和を目指して	
2 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
3 年次	前期	1T		
		2T		
	後期	3T		
		4T		
修得単位数		2	2	6
要修得単位数		2	2	6

修得単位数合計10単位

【教職開発専攻 専門職学位課程】

教職開発プログラム(学位:教職修士(専門職))

(養成する人材:教育委員会等のデマンド・サイドからの要望を踏まえ、教員として必要とされる資質・能力を身につけ、専門職としての高度な知識・技能、組織の一員としてのマネジメント力等を発揮して、新しい学びや諸課題に対応した教育実践を創造・推進できる人材(教育実践開発コース))

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目		
				ターム科目	セメスター科目	
1 年次	前期	1T	データリテラシー	人間社会科学特別講義	教育課程開発の実践と評価 論理的思考教育の開発実践 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む) 現代の教育改革	授業開発と評価(基礎) アクションリサーチ・セミナーⅠ アクションリサーチ実地研究Ⅰ
		2T			発達支援と幼児児童生徒理解 教科横断的授業デザインと授業分析	
	後期	3T				授業開発と評価(応用) アクションリサーチ・セミナーⅡ アクションリサーチ実地研究Ⅱ
		4T	Hiroshimaから世界平和を考える		マイクロティーチングの実践 授業研究の開発実践(IGTを含む) 道徳・人間関係教育領域の開発実践 教育相談・カウンセリングの理論と実践	
2 年次	前期	1T			学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む)	授業開発と評価(発展) アクションリサーチ・セミナーⅢ アクションリサーチ実地研究Ⅲ
		2T				
	後期	3T				授業開発と評価(開発) アクションリサーチ・セミナーⅣ アクションリサーチ実地研究Ⅳ
		4T			現代教師教育の理論と実践	
修得単位数		2		2		46
要修得単位数		2		2		45

修得単位数合計50単位

【実務法学専攻 専門職学位課程】

実務法学プログラム(学位:法務博士(専門職))

(養成する人材:法曹養成)

		大学院共通科目	研究科共通科目	プログラム専門科目
1 年次	前期	1T		民法1A 刑法A 法学概論
		2T		民法1B 会社法1 刑法A 演習 基礎演習1
	後期	3T		民法3 会社法2 刑法B 基礎演習2
		4T		会社法3 刑法B 演習 基礎演習3
2 年次	前期	1T		民法演習1 A 民法演習2 A 刑事訴訟法1 憲法演習1 刑法演習1
		2T		民法演習1 B 民法演習2 B 商事法演習1 A 刑法C 刑事訴訟法1 演習 民事訴訟実務基礎1
	後期	3T		民法演習3 A 商事法演習1 B 刑法C 演習 刑事訴訟法2 民事訴訟実務基礎2
		4T		民法演習3 B 商事法演習2 A 刑事訴訟法2 演習
3 年次	前期	1T		商事法演習2 B 刑事訴訟実務基礎 模擬裁判 ローヤリング
		2T		民事法総合演習 刑事法総合演習 公法総合演習
	後期	3T		重点演習(民事法1) 重点演習(民事法2) 重点演習(刑事法1) 重点演習(刑事法2) 重点演習(公法1)
		4T	ストレスマネジメント H r o s h i n aから世界平和を考える	人間社会科学特別講義
修得単位数		3	2	99
要修得単位数		2	2	99

修得単位数合計104単位

学位授与の判定基準及び学位論文の評価基準について

広島大学大学院人間社会科学研究科
学位授与の判定基準及び学位論文の評価基準

【博士課程前期】

広島大学大学院人間社会科学研究科では、次の判定基準に基づいて修士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、修士の学位を授与する。

1. 修士の学位を受ける者は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、当該専門分野における研究能力及び高度な専門的能力を身につけていること、さらに幅広い教養と総合的な判断力を有していること
2. 修士論文は次に定める「学位論文の評価基準」に基づき評価されるとともに、当該専門分野の発表会・審査委員会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明解に応答すること。
3. 修士学位論文の提出の手続きについては、別に定める。

（学位論文の評価基準）

I 論文の審査項目

- (1) 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけているか。
- (2) 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。
- (3) 論文の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- (4) 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。
- (5) 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、独自の価値を有するものとなっているか。

II 特定課題研究の審査項目

- (1) 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけているか。
- (2) 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、特定課題研究作成にあたっての問題意識が明確であるか。
- (3) 特定課題研究の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
- (4) 調査により入手した資料・データに基づいて、関連情報を正確に把握できているか。
- (5) 問題点の的確な整理、その問題点に関する状況の把握、および検証結果の評価の三つの観点において、問題解決能力が身につけているか。

【博士課程後期】

広島大学大学院人間社会科学研究科では、次の判定基準に基づいて博士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、博士の学位を授与する。

1. 博士の学位を受ける者は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、国際的な視野に立った学際的な学識を備え、当該専門分野における研究を自立して実践できる能力及び高度な専門的能力を有していること。
2. 博士論文は次に定める「学位論文の評価基準」に基づき評価されるとともに、当該専門分野の発表会・審査委員会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明解に応答すること。
3. 博士学位論文の提出の手続きについては、別に定める。

（学位論文の評価基準）

I 論文の審査項目

- (1) 当該研究領域における博士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、解明する能力を身につけているか。
- (2) 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。
- (3) 論文の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっており、論理的に明確な結論が導かれているか。
- (4) 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。
- (5) 当該研究領域の理論的見地または実証的見地に加え、国際的な学術水準および学際的観点から見て、独自の価値を有するものとなっているか。